

小平市地域包括ケア推進計画 策定のためのアンケート調査

報告書

令和2年3月

小 平 市

目次

第1章 調査の概要

1 調査の目的.....	3
2 調査対象.....	3
3 調査期間.....	3
4 調査方法.....	3
5 回収状況.....	3
6 調査結果の表示方法.....	4

第2章 一般高齢者

1 回答者属性.....	7
2 健康や介護予防について.....	10
3 日常生活について.....	14
4 困りごとの相談先について.....	22
5 地域とのつながり、交流について.....	25
6 就労・社会参加について.....	32
7 物忘れや判断力について.....	34
8 介護保険制度について.....	38
9 今後の生活について.....	40
10 自由意見.....	44

第3章 在宅サービス利用者

1 回答者属性.....	51
2 住まいについて.....	53
3 医療の状況について.....	55
4 ご家族や介護者について.....	57
5 介護保険サービスの利用について.....	70
6 利用者負担について.....	76
7 今後利用したいサービスについて.....	79
8 今後の生活について.....	80
9 介護保険制度の運営について.....	83
10 自由意見.....	84

第4章 施設・居住系サービス利用者

1 回答者属性.....	89
2 施設・居住系サービスについて.....	91
3 介護保険制度の運営について.....	100
4 自由意見.....	101

第5章 介護保険サービス未利用者

1 回答者属性.....	107
2 住まいについて.....	109
3 医療の状況について.....	111
4 ご家族や介護者について.....	113
5 介護保険サービスの利用について.....	126
6 今後の生活について.....	129
7 介護保険制度の運営について.....	132
8 自由意見.....	133

第6章 介護予防・日常生活圏域 ニーズ調査

1 回答者属性.....	139
2 からだを動かすことについて.....	142
3 食べることについて.....	146
4 毎日の生活について.....	149
5 地域での活動について.....	151
6 たすけあいについて.....	153
7 健康について.....	156
8 認知症について.....	159
9 生活機能評価等に関する分析.....	160

第7章 介護支援専門員（ケアマネジャー）

1 回答者属性.....	177
2 サービスの状況について.....	181
3 地域包括支援センターについて.....	186
4 認知症の方の支援について.....	187
5 高齢者虐待について.....	190
6 医療と介護の連携について.....	194
7 ケアマネジャー業務全般について.....	202
8 小平市への意向について.....	209
9 自由意見.....	211

第8章 資料編（調査票）

一般高齢者.....	215
在宅サービス利用者.....	231
施設・居住系サービス利用者.....	247
介護保険サービス未利用者.....	253
介護予防・日常生活圏域ニーズ調査.....	265
介護支援専門員（ケアマネジャー）.....	275

第1章 調査の概要

1 調査の目的

令和3年度から令和5年度までの3年間を対象期間とする「小平市地域包括ケア推進計画（小平市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画）」の基礎資料とするため、高齢者の生活状況や支援サービスの利用意向、要支援・要介護認定を受けた方のサービス利用実態、意向等を把握し、今後の高齢者福祉施策や介護保険サービスの基盤整備、新たな施策の対応等に資することを目的に実施しました。

2 調査対象

- ①一般高齢者アンケート（要支援・要介護認定者を除く）
小平市にお住まいの65歳以上の高齢者 2,000人
- ②介護保険サービス利用状況アンケート
介護保険の在宅サービスを利用されている方 1,800人
- ③介護保険サービス利用状況アンケート
介護保険の施設・居住系サービスを利用されている方 900人
- ④介護保険サービス利用状況アンケート
介護保険サービスを利用されていない方 900人
- ⑤介護予防・日常生活圏域ニーズ調査（要介護認定者を除く）
小平市にお住まいの65歳以上の高齢者 2,000人
- ⑥介護支援専門員（ケアマネジャー）アンケート
市内居宅介護支援事業所の介護支援専門員（ケアマネジャー） 124人

3 調査期間

令和元年11月22日から12月20日まで

4 調査方法

郵送による配布・回収

5 回収状況

種類		配布数	有効回収数	有効回収率
①	一般高齢者	2,000	1,200	60.0%
②	在宅サービス利用者	1,800	993	55.2%
③	施設・居住系サービス利用者	900	428	47.6%
④	介護保険サービス未利用者	900	519	57.7%
⑤	介護予防・日常生活圏域ニーズ調査	2,000	1,268	63.4%
⑥	介護支援専門員(ケアマネジャー)	124	98	79.0%
合計		7,724	4,506	58.4%

6 調査結果の表示方法

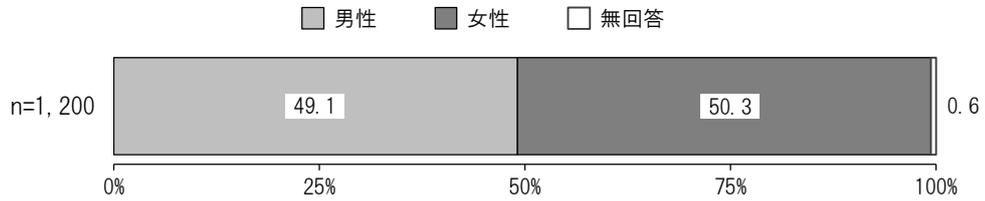
- ・回答は各質問の回答者数（n）を基数とした百分率（%）で示してあります。また、小数点以下第2位を四捨五入しているため、内訳の合計が100.0%にならない場合があります。
- ・複数回答が可能な設問の場合、回答者が全体に対してどのくらいの比率であるかという見方になるため、回答比率の合計が100.0%を超える場合があります。
- ・クロス集計の場合、無回答を排除しているため、クロス集計の有効回答数の合計と単純集計（全体）の有効回答数が合致しないことがあります。なお、クロス集計とは、複数項目の組み合わせで分類した集計のことで、複数の質問項目を交差して並べ、表やグラフを作成することにより、その相互の関係を明らかにするための集計方法です。
- ・調査結果を図表にて表示していますが、グラフ以外の表は、最も高い割合のものを  で網かけをしています。（無回答を除く）

第2章 一般高齡者

1 回答者属性

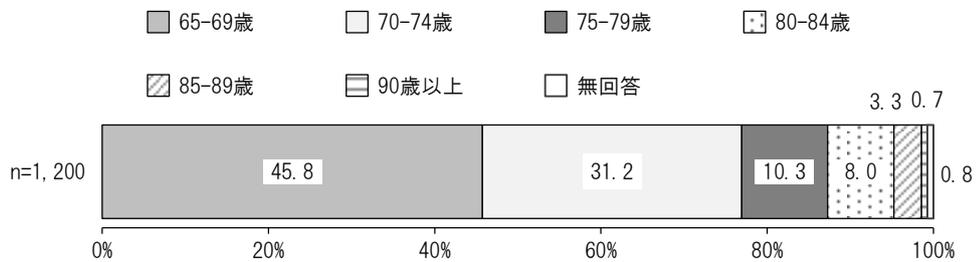
問1 あなたの性別をおたずねします。(1つに○)

「男性」が49.1%、「女性」が50.3%となっています。



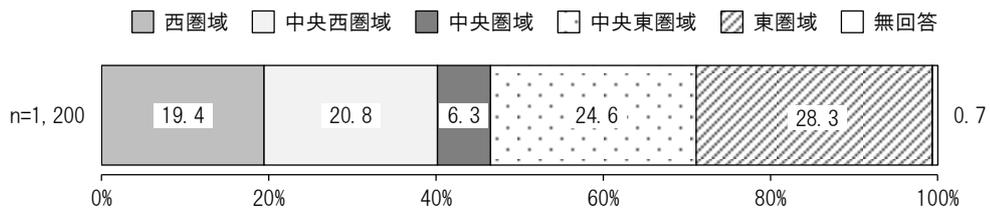
問2 あなたの令和元年11月1日現在の年齢をお答えください。

「65～69歳」が45.8%と最も高く、次いで「70～74歳」が31.2%、「75～79歳」が10.3%となっています。



問3 あなたがお住まいの地域はどこですか。(1つに○)

「東圏域」が28.3%と最も高く、次いで、「中央東圏域」が24.6%、「中央西圏域」が20.8%となっています。

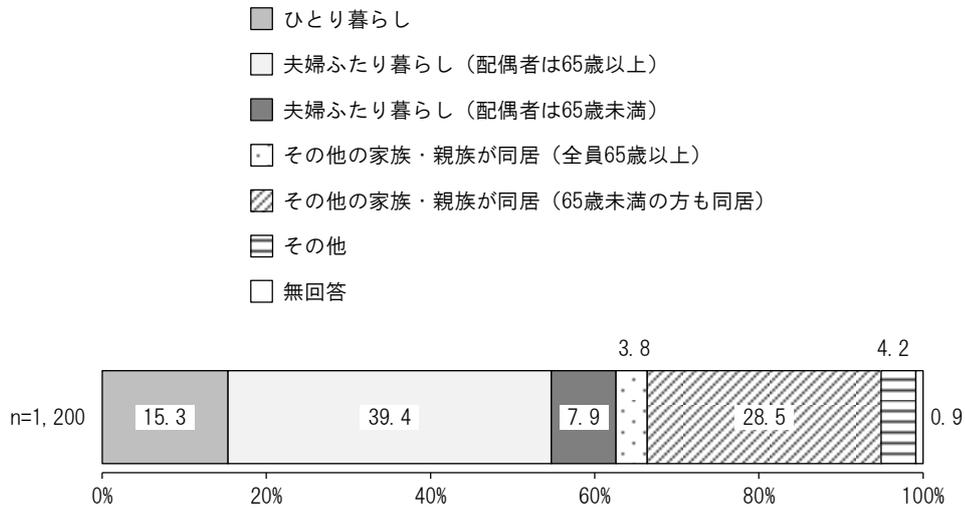


◆ 小平市の日常生活圏域

日常生活圏域	町 丁 名
西圏域	中島町、上水新町、たかの台、小川町1丁目、栄町、上水本町1丁目、津田町1丁目
中央西圏域	小川西町、小川東町1～5丁目、上水本町2～6丁目、津田町2～3丁目、学園西町
中央圏域	小川町2丁目、小川東町(西武多摩湖線より東側)、学園東町1丁目
中央東圏域	上水南町、喜平町、学園東町(1丁目を除く)、仲町、美園町、大沼町
東圏域	回田町、御幸町、鈴木町、天神町、花小金井南町、花小金井

問4 あなたが現在一緒に暮らしている家族の構成を教えてください。(1つに○)

「夫婦ふたり暮らし(配偶者は65歳以上)」が39.4%と最も高く、次いで「その他の家族が同居(65歳未満の方も同居)」が28.5%、「ひとり暮らし」が15.3%となっています。



【年齢別】

年齢別にみると、どの年齢も「夫婦ふたり暮らし(配偶者は65歳以上)」が最も高くなっています。65～69歳では「夫婦ふたり暮らし(配偶者は65歳未満)」が他と比べて高くなっています。

単位：%

区分	有効回答数(件)	ひとり暮らし	夫婦ふたり暮らし(配偶者は65歳以上)	夫婦ふたり暮らし(配偶者は65歳未満)	その他の家族・親族が同居(全員65歳以上)	その他の家族・親族が同居(65歳未満の方も同居)	その他	無回答
65～69歳	549	13.3	34.2	14.0	3.5	30.8	3.5	0.7
70～74歳	374	14.4	46.8	4.5	3.7	25.1	5.3	—
75～79歳	124	23.4	44.4	—	1.6	27.4	1.6	1.6
80～84歳	96	16.7	39.6	1.0	5.2	33.3	2.1	2.1
85～89歳	40	20.0	32.5	—	5.0	25.0	15.0	2.5
90歳以上	8	25.0	25.0	—	12.5	25.0	12.5	—

【居住地域別】

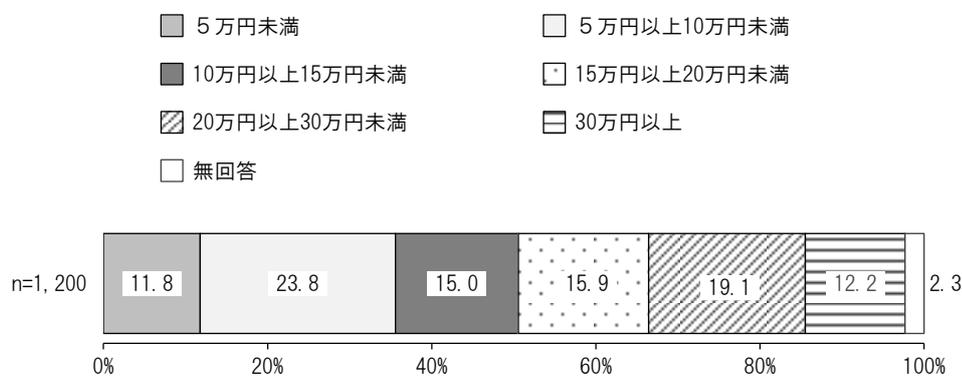
居住地域別にみると、中央圏域で「ひとり暮らし」が他と比べて高くなっています。

単位：%

区分	有効回答数(件)	ひとり暮らし	夫婦ふたり暮らし(配偶者は65歳以上)	夫婦ふたり暮らし(配偶者は65歳未満)	その他の家族・親族が同居(全員65歳以上)	その他の家族・親族が同居(65歳未満の方も同居)	その他	無回答
西圏域	233	13.7	42.1	8.2	4.7	27.5	3.9	—
中央西圏域	249	13.7	39.0	10.0	2.8	29.3	4.8	0.4
中央圏域	76	28.9	36.8	9.2	1.3	21.1	1.3	1.3
中央東圏域	295	16.6	35.6	7.8	4.7	29.8	4.7	0.7
東圏域	339	13.3	42.2	6.2	3.5	29.5	3.8	1.5

問5 あなたご本人の平均的な1か月の収入はどのくらいですか。(1つに○)

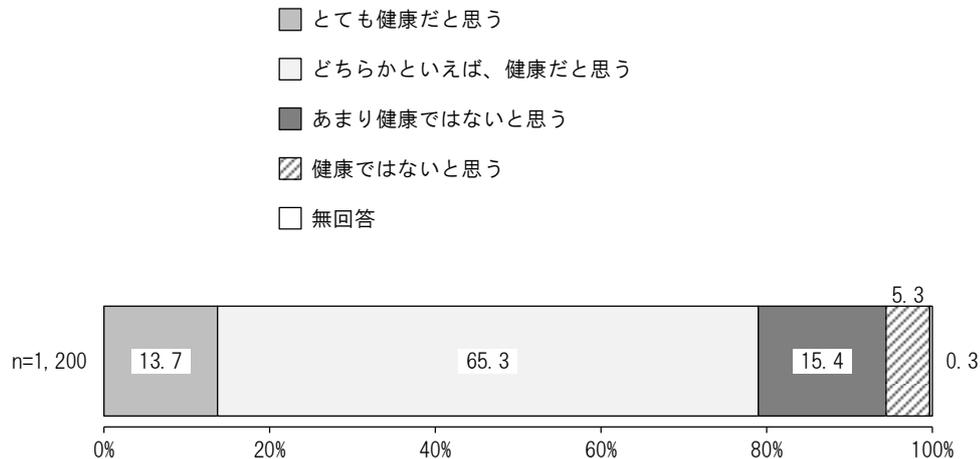
「5万円以上10万円未満」が23.8%と最も高く、次いで「20万円以上30万円未満」が19.1%、「15万円以上20万円未満」が15.9%、「10万円以上15万円未満」が15.0%となっています。



2 健康や介護予防について

問6 あなたの現在の健康状態は次のうちどれにあたりますか。(1つに○)

「どちらかといえば、健康だと思う」が65.3%と最も高く、次いで「あまり健康ではないと思う」が15.4%、「とても健康だと思う」が13.7%、「健康ではないと思う」が5.3%となっています。



【年齢別】

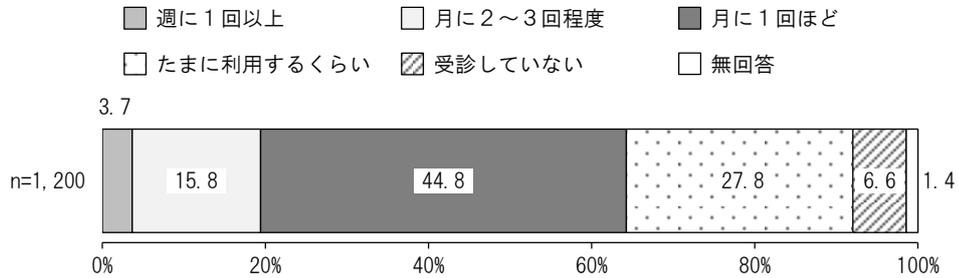
年齢別にみると、どの年齢も「どちらかといえば、健康だと思う」が最も高くなっています。「とても健康だと思う」と「あまり健康ではないと思う」は、65～74歳ではほぼ同じ割合ですが、75～79歳では「あまり健康ではないと思う」が20.2%で、「どちらかといえば、健康だと思う」に次いで高くなっています。

単位：%

区分	有効回答数(件)	とても健康だと思う	どちらかといえば、健康だと思う	あまり健康ではないと思う	健康ではないと思う	無回答
65～69歳	549	15.1	66.5	14.8	3.6	—
70～74歳	374	14.2	63.9	15.0	7.0	—
75～79歳	124	8.9	69.4	20.2	0.8	0.8
80～84歳	96	14.6	64.6	10.4	10.4	—
85～89歳	40	2.5	57.5	25.0	12.5	2.5
90歳以上	8	—	62.5	25.0	12.5	—

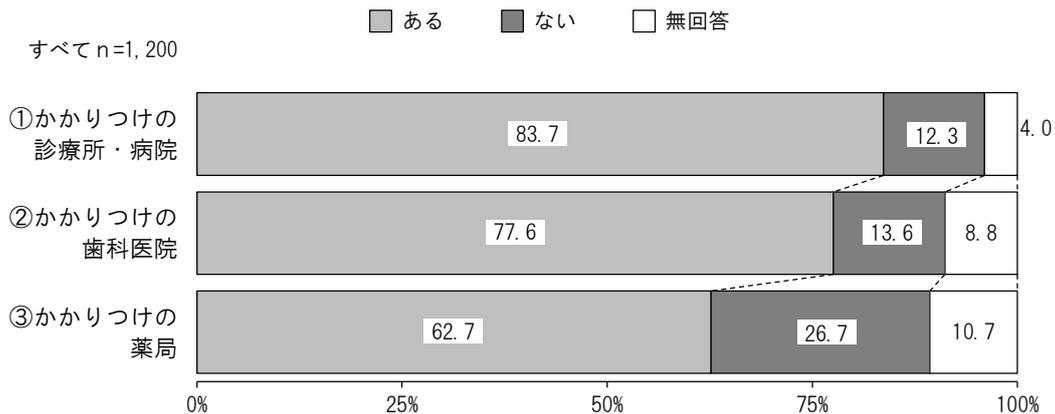
問7 あなたは現在、医療機関をどのくらいの頻度で利用していますか。(1つに○)

「月に1回ほど」が44.8%と最も高く、次いで「たまに利用するくらい」が27.8%、「月に2～3回程度」が15.8%となっています。



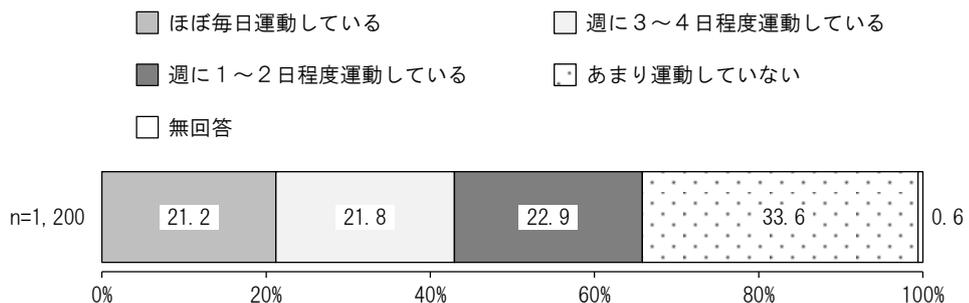
問8 あなたには、かかりつけの診療所・病院、かかりつけの歯科医院、かかりつけの薬局がありますか。(①～③それぞれ1つに○)

①かかりつけの診療所・病院で「ある」が80%を超えています。



問9 あなたは、どのくらいの頻度で運動していますか。(1つに○)

「ほぼ毎日運動している」、「週に3～4日程度運動している」、「週に1～2日程度運動している」をあわせた“週1回以上運動している”が65.9%となっています。「あまり運動していない」が33.6%となっています。



【年齢別】

年齢別にみると、65～79歳で「あまり運動していない」が高くなっています。80～84歳と90歳以上では「ほぼ毎日運動している」が最も高く、85～89歳では「週に1～2日程度運動している」が最も高くなっています。

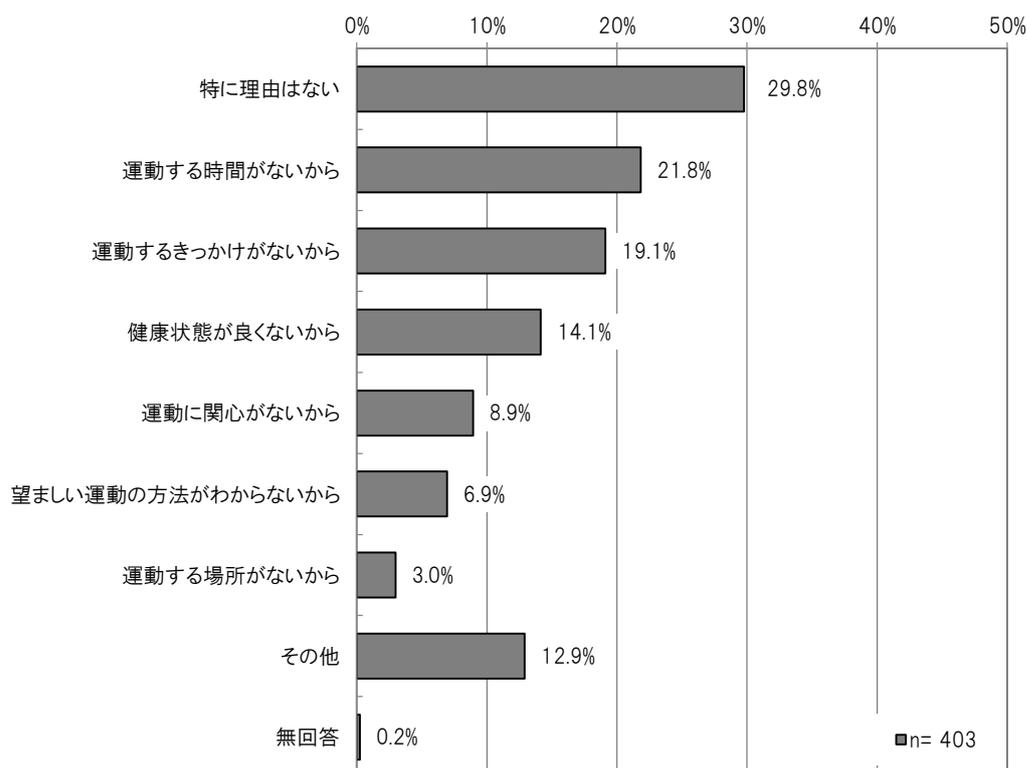
単位：％

区分	有効回答数 (件)	ほぼ毎日 運動している	週に3～4日 程度運動 している	週に1～2日 程度運動 している	あまり 運動して いない	無 回答
65～69歳	549	18.4	22.2	24.0	34.8	0.5
70～74歳	374	23.0	21.1	22.5	33.2	0.3
75～79歳	124	20.2	26.6	20.2	32.3	0.8
80～84歳	96	31.3	24.0	13.5	30.2	1.0
85～89歳	40	12.5	5.0	42.5	37.5	2.5
90歳以上	8	50.0	12.5	12.5	25.0	—

問9で「4. あまり運動していない」と回答した方におたずねします。

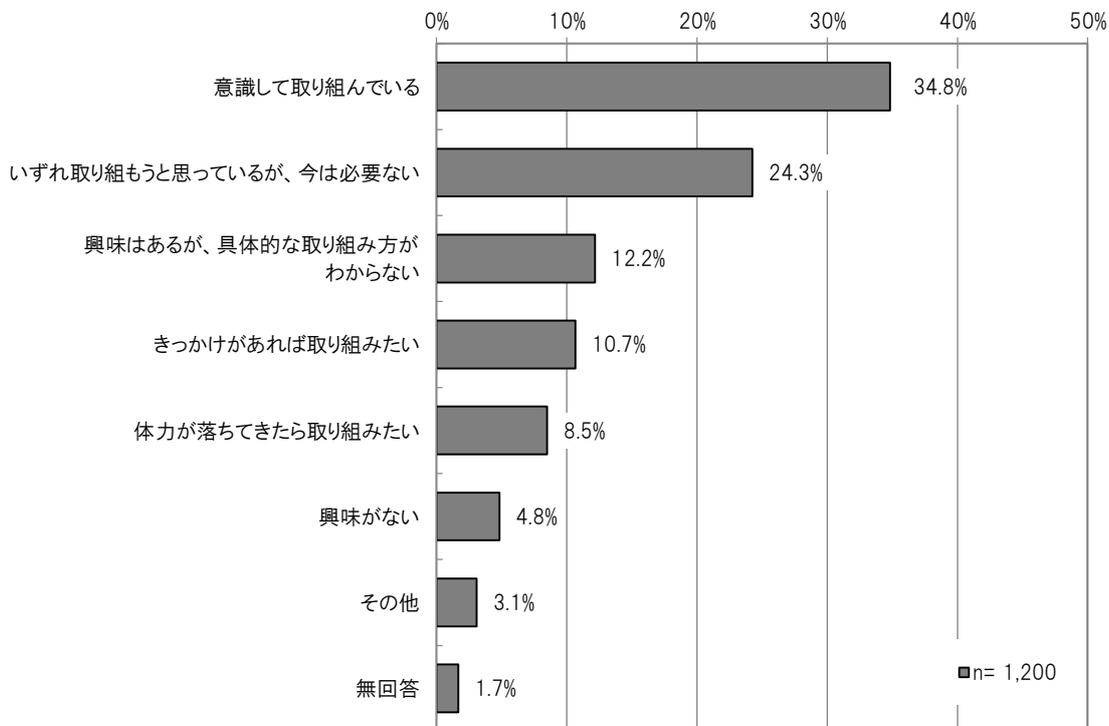
問10 あまり運動をしていない理由は何ですか。(○はいくつでも)

「特に理由はない」が29.8%と最も高く、次いで「運動する時間がないから」が21.8%、「運動するきっかけがないから」が19.1%となっています。



問11 あなたの現在の介護予防に対するお考えをおたずねします。(1つに○)

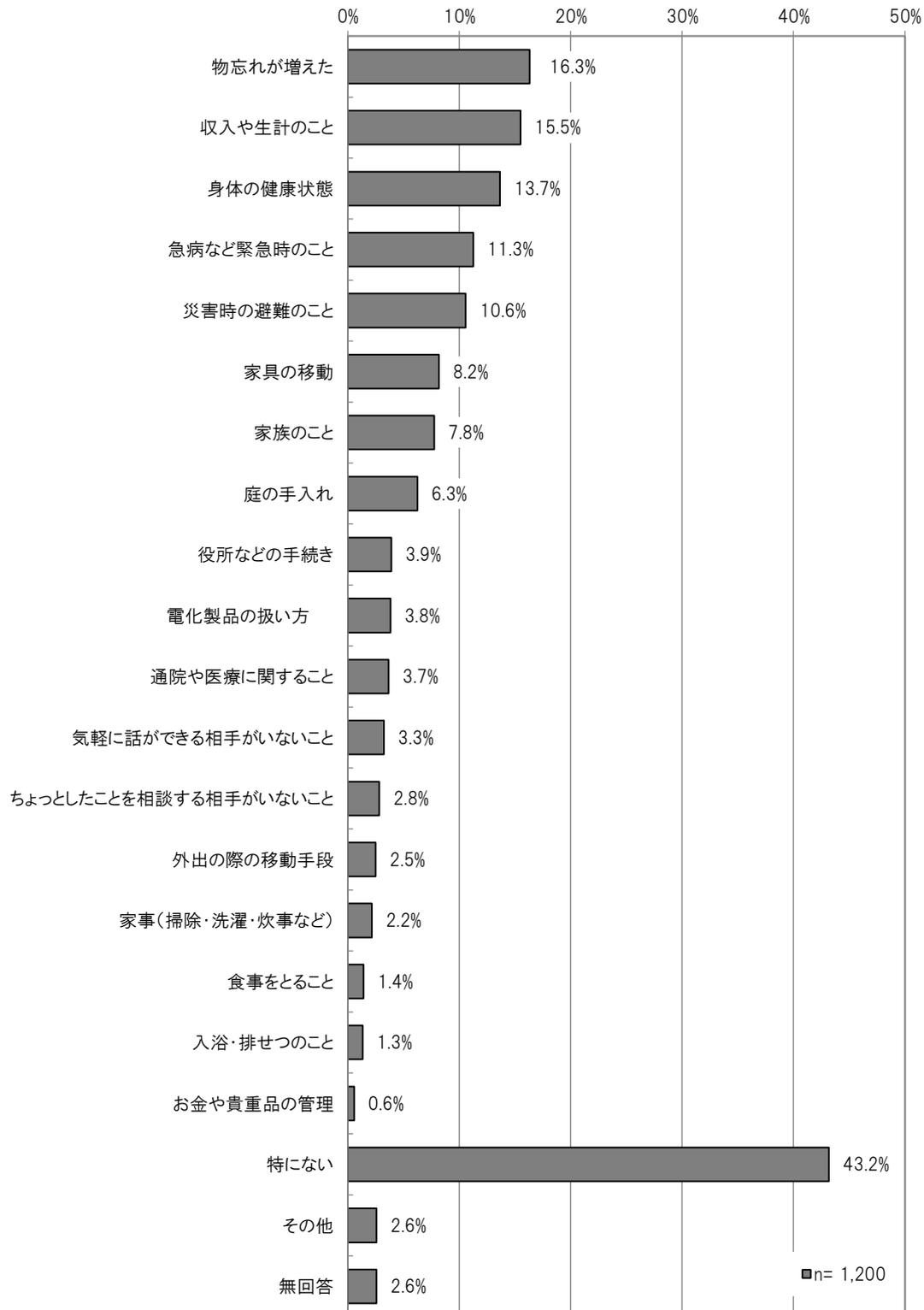
「意識して取り組んでいる」が34.8%と最も高く、次いで「いずれ取り組もうと思っているが、今は必要ない」が24.3%、「興味はあるが、具体的な取り組み方がわからない」が12.2%、「きっかけがあれば取り組みたい」が10.7%となっています。



3 日常生活について

問 12 あなたは、日常生活で困っていることがありますか。(○はいくつでも)

「特にない」が43.2%と最も高く、次いで「物忘れが増えた」が16.3%、「収入や生計のこと」が15.5%、「身体 の健康状態」が13.7%となっています。



【年齢別】

年齢別にみると、85歳以上で「物忘れが増えた」が高くなっています。また、「物忘れが増えた」は75歳～84歳でも「特にない」に次いで高くなっています。

単位：％

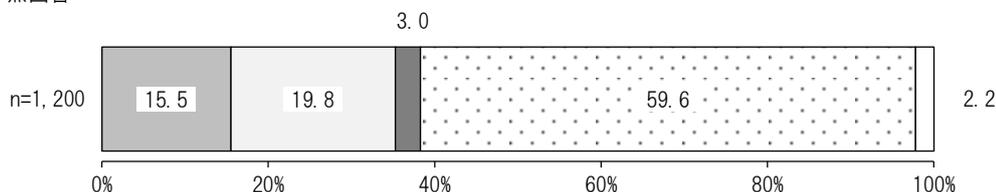
区分	有効回答数(件)	身体 の健康状態	物忘れ が増えた	入浴・排せつ のこと	食事をとる こと	家事(掃除・洗濯・炊事など)	外出の際の移動手段	電化製品の扱い方	家具の移動	庭の手入れ	通院や医療に関する こと
65～69歳	549	11.1	11.7	0.7	1.3	1.5	1.8	2.2	5.8	5.8	4.0
70～74歳	374	14.7	15.5	1.1	0.3	2.4	2.4	5.3	9.1	5.9	2.4
75～79歳	124	13.7	25.8	1.6	3.2	3.2	4.0	4.0	8.9	8.1	3.2
80～84歳	96	20.8	25.0	2.1	1.0	3.1	3.1	2.1	15.6	6.3	6.3
85～89歳	40	15.0	30.0	5.0	5.0	—	5.0	7.5	12.5	12.5	—
90歳以上	8	12.5	37.5	12.5	12.5	12.5	12.5	25.0	12.5	—	12.5

区分	役所などの手続き	収入や生計のこと	お金や貴重品の管理	気軽に話ができる 相手がいないこと	ちよつとしたことを 相談する相手が いないこと	家族のこと	急病など緊急時の こと	災害時の避難の こと	その他	特にな い	無回 答
65～69歳	2.7	16.0	0.5	4.0	3.5	8.7	10.0	8.9	2.0	48.6	2.2
70～74歳	4.3	16.8	0.3	1.3	1.6	7.8	10.4	8.0	4.0	43.0	1.6
75～79歳	4.0	14.5	—	3.2	0.8	6.5	14.5	16.9	0.8	33.1	4.8
80～84歳	5.2	11.5	1.0	3.1	5.2	5.2	14.6	14.6	3.1	35.4	3.1
85～89歳	10.0	12.5	—	10.0	5.0	5.0	12.5	17.5	—	25.0	5.0
90歳以上	12.5	—	12.5	—	—	—	25.0	25.0	12.5	25.0	12.5

問13 あなたは、日中や夜間、家で一人になることがありますか。(1つに○)

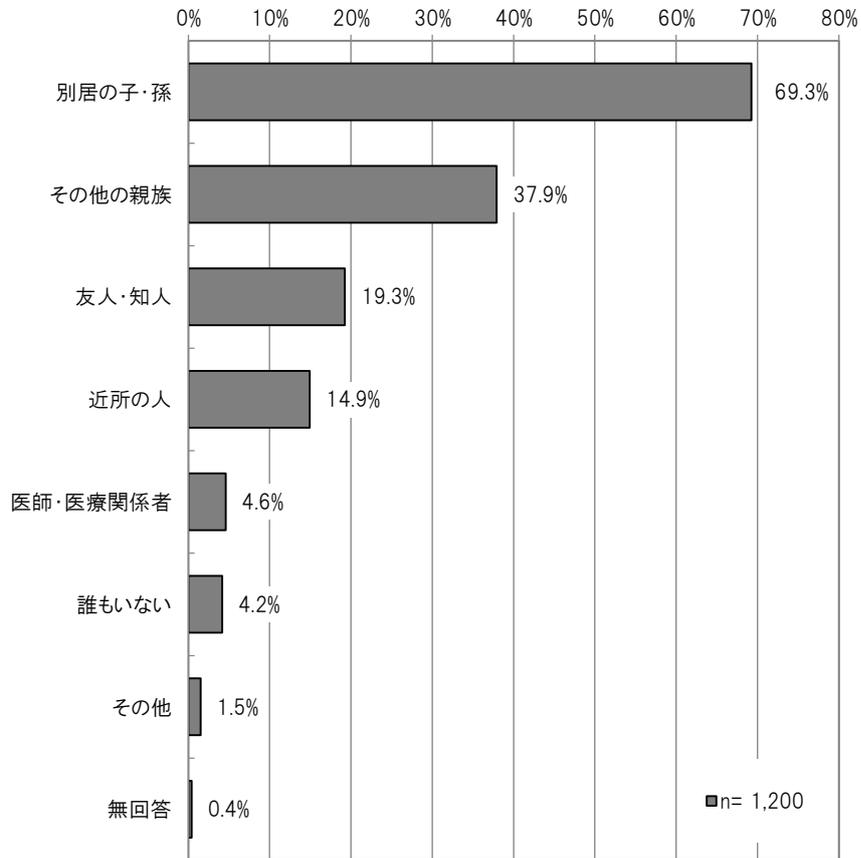
「日中も夜間も家族がいることが多い」が59.6%と最も高く、次いで「日中は一人であることが多い(夜間は家族がいる)」が19.8%、「日中も夜間も一人であることが多い」が15.5%となっています。

- 日中も夜間も一人であることが多い
- 日中は一人であることが多い(夜間は家族がいる)
- 夜間は一人であることが多い(日中は家族がいる)
- 日中も夜間も家族がいることが多い
- 無回答



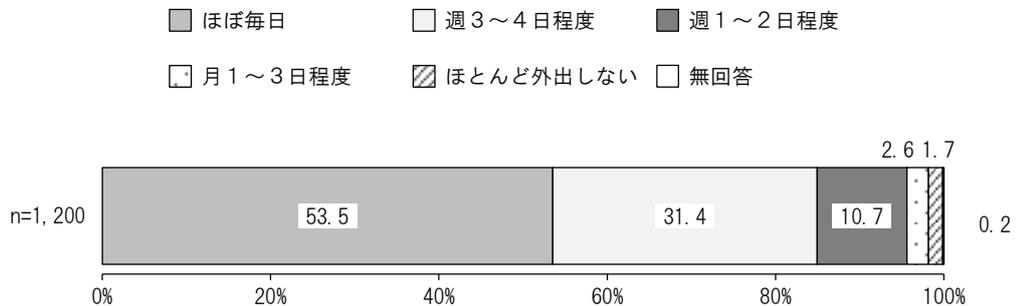
問 14 あなたは、同居している家族以外に、緊急時に連絡できる人がいますか。
(〇はいくつでも)

「別居の子・孫」が 69.3%と最も高く、次いで「その他の親族」が 37.9%、「友人・知人」が 19.3%となっています。



問15 あなたは普段、どのくらいの頻度で外出していますか。(1つに○)

「ほぼ毎日」が53.5%と最も高く、次いで「週3～4日程度」が31.4%、「週1～2日程度」が10.7%となっています。



【年齢別】

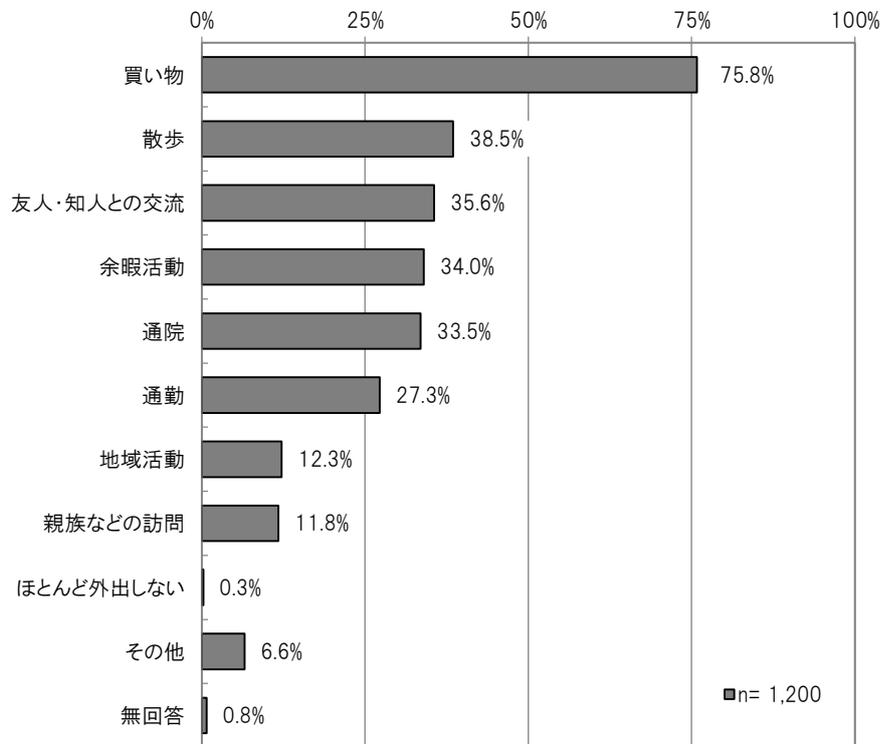
年齢別にみると、年齢が高くなるにつれて「ほぼ毎日」が低くなっています。また、85～89歳では「週1～2日程度」が、90歳以上では「週3～4日程度」が最も高くなっています。

単位：%

区分	有効回答数(件)	ほぼ毎日	週3～4日程度	週1～2日程度	月1～3日程度	ほとんど外出しない	無回答
65～69歳	549	61.7	27.7	8.4	1.1	1.1	—
70～74歳	374	52.7	33.2	9.6	2.9	1.6	—
75～79歳	124	41.9	37.9	12.9	4.8	1.6	0.8
80～84歳	96	41.7	39.6	12.5	4.2	2.1	—
85～89歳	40	27.5	20.0	32.5	10.0	10.0	—
90歳以上	8	25.0	37.5	25.0	—	—	12.5

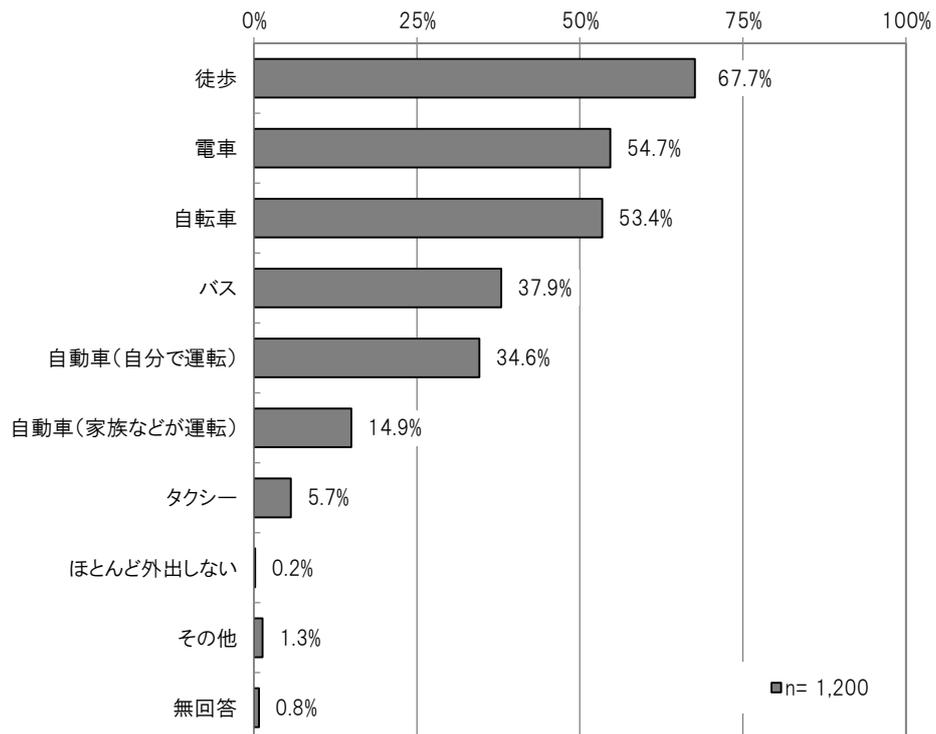
問16 あなたは、どのような目的で外出することが多いですか。(〇はいくつでも)

「買い物」が75.8%と最も高く、次いで「散歩」が38.5%、「友人・知人との交流」が35.6%、「余暇活動」が34.0%、「通院」が33.5%となっています。



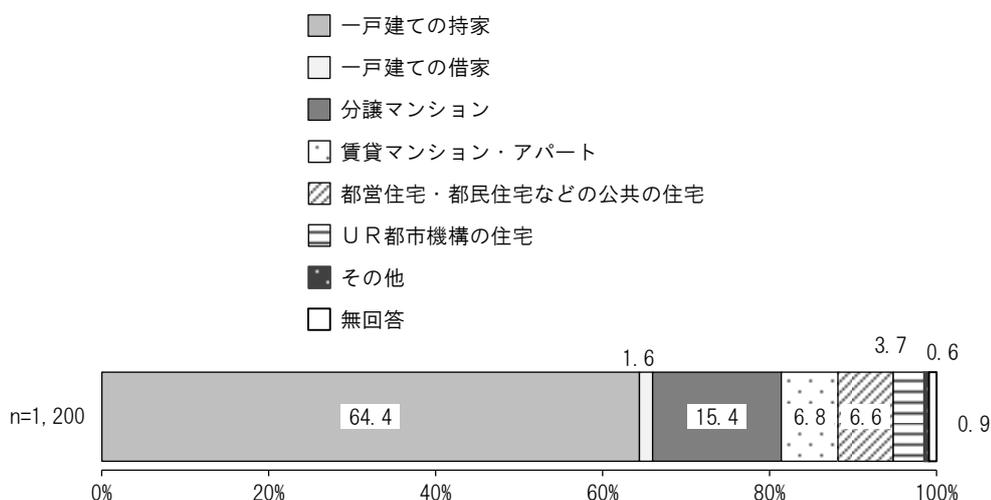
問17 あなたは、外出する際に、どのような方法で外出することが多いですか。(〇はいくつでも)

「徒歩」が67.7%と最も高く、次いで「電車」が54.7%、「自転車」が53.4%となっています。



問18 あなたのお住まいの種類をおたずねします。(1つに○)

「一戸建ての持家」が64.4%と最も高く、次いで「分譲マンション」が15.4%、「賃貸マンション・アパート」が6.8%となっています。



【世帯構成別】

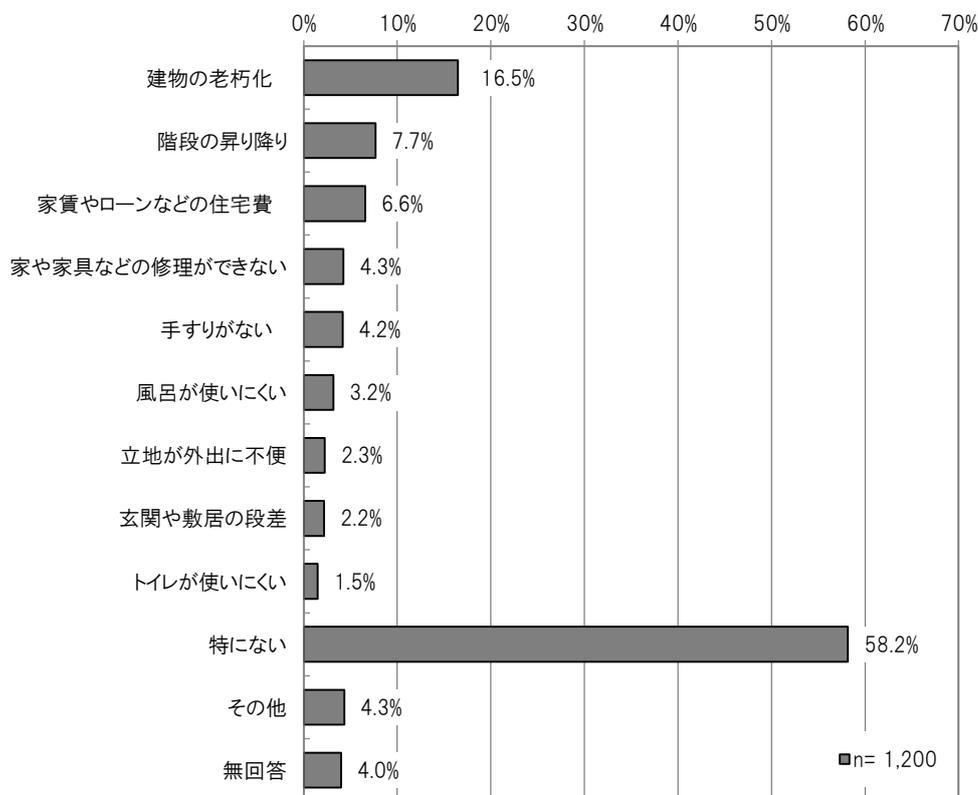
世帯構成別にみると、ひとり暮らしで「賃貸マンション・アパート」、「都営住宅・都民住宅などの公共の住宅」が他と比べて高くなっています。

単位：%

区分	有効回答数(件)	一戸建ての持家	一戸建ての借家	分譲マンション	賃貸マンション・アパート	都営住宅・都民住宅などの公共の住宅	UR都市機構の住宅	その他	無回答
ひとり暮らし	183	37.2	3.3	16.4	14.8	16.4	9.3	0.5	2.2
夫婦ふたり暮らし(配偶者は65歳以上)	473	68.3	0.8	16.3	5.5	4.2	3.6	0.4	0.8
夫婦ふたり暮らし(配偶者は65歳未満)	95	63.2	3.2	20.0	5.3	4.2	3.2	1.1	—
その他の家族が同居(全員65歳以上)	46	63.0	2.2	19.6	8.7	4.3	2.2	—	—
その他の家族が同居(65歳未満の方も同居)	342	73.7	1.5	13.5	4.4	4.7	1.5	0.3	0.6
その他	50	70.0	—	4.0	8.0	12.0	2.0	4.0	—

問19 あなたは、住まいについて困っていることがありますか。(〇はいくつでも)

「特にない」が58.2%と最も高く、次いで「建物の老朽化」が16.5%となっています。



【住まいの種類別】

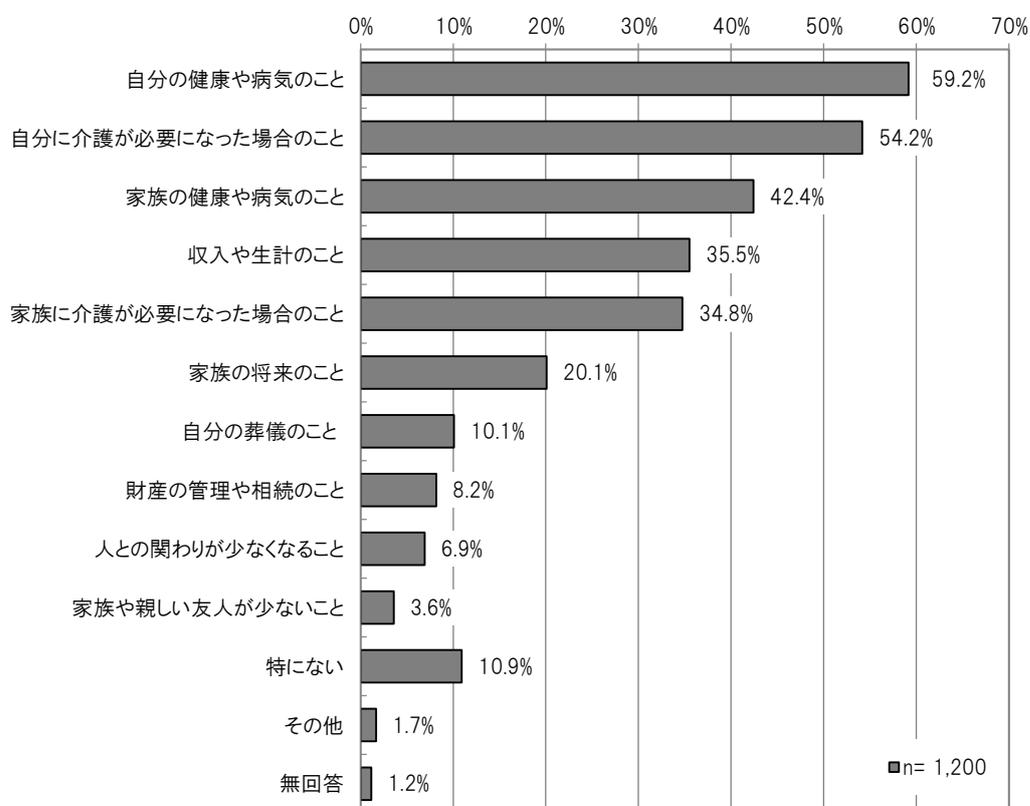
住まいの種類別にみると、UR都市機構の住宅で「家賃やローンなどの住宅費」が最も高くなっています。また、一戸建ての借家と賃貸マンション・アパートでも「家賃やローンなどの住宅費」は「特にない」に次いで高くなっています。

単位：%

区分	有効回答数(件)	階段の昇り降り	玄関や敷居の段差	風呂が使いにくい	トイレが使いにくい	手すりがない	家や家具などの修理ができない	建物の老朽化	立地が外出に不便	家賃やローンなどの住宅費	その他	特にない	無回答
一戸建ての持家	773	7.4	2.1	1.3	1.0	4.7	4.5	19.7	1.8	2.5	4.3	60.7	3.5
一戸建ての借家	19	10.5	—	5.3	—	10.5	—	26.3	—	26.3	10.5	31.6	—
分譲マンション	185	4.3	2.2	2.7	—	1.6	3.2	10.3	2.7	5.4	2.7	70.8	3.2
賃貸マンション・アパート	82	11.0	4.9	6.1	3.7	6.1	6.1	12.2	3.7	31.7	3.7	37.8	1.2
都営住宅・都民住宅などの公共の住宅	79	2.5	1.3	13.9	1.3	1.3	5.1	2.5	5.1	5.1	7.6	60.8	5.1
UR都市機構の住宅	44	25.0	2.3	9.1	13.6	2.3	2.3	18.2	2.3	31.8	4.5	22.7	2.3
その他	7	28.6	—	14.3	—	28.6	—	28.6	—	14.3	14.3	28.6	14.3

問20 あなたは、今後の生活で不安に感じることは何ですか。(〇はいくつでも)

「自分の健康や病気のこと」が59.2%と最も高く、次いで「自分に介護が必要になった場合のこと」が54.2%、「家族の健康や病気のこと」が42.4%となっています。



【世帯構成別】

世帯構成別にみると、ひとり暮らしで「自分に介護が必要になった場合のこと」、夫婦ふたり暮らし（配偶者は65歳以上）で「家族の健康や病気のこと」、「家族に介護が必要になった場合のこと」が他と比べて高くなっています。

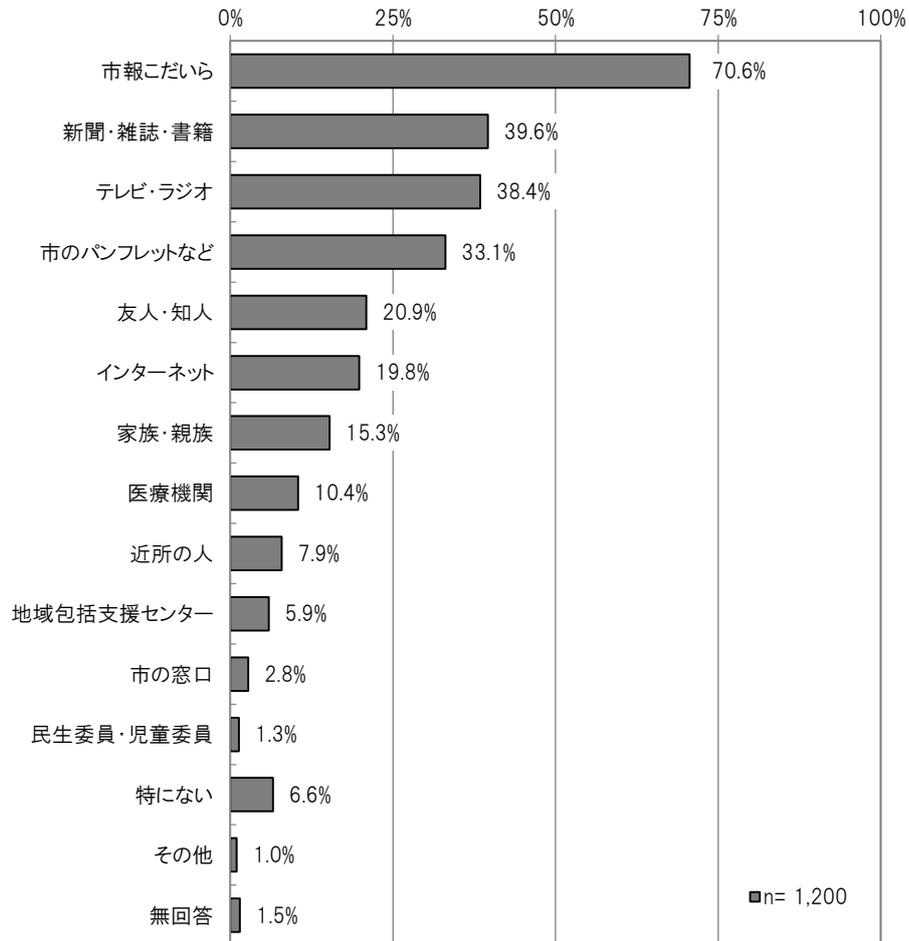
単位：%

区分	有効回答数(件)	収入や生計のこと	自分の健康や病気のこと	家族の健康や病気のこと	自分に介護が必要になった場合のこと	家族に介護が必要になった場合のこと	人との関わりが少なくなること	家族や親しい友人が少ないこと	家族の将来のこと	財産の管理や相続のこと	自分の葬儀のこと	その他	特にない	無回答
ひとり暮らし	183	41.0	69.4	8.7	67.8	4.9	11.5	8.7	3.8	7.7	19.1	1.6	7.1	1.1
夫婦ふたり暮らし(配偶者は65歳以上)	473	32.6	60.0	53.3	53.7	50.7	6.8	3.0	15.6	7.2	7.2	2.3	9.7	1.9
夫婦ふたり暮らし(配偶者は65歳未満)	95	45.3	58.9	45.3	51.6	36.8	11.6	4.2	23.2	14.7	12.6	1.1	10.5	—
その他の家族が同居(全員65歳以上)	46	37.0	50.0	39.1	50.0	26.1	6.5	6.5	13.0	4.3	17.4	—	23.9	—
その他の家族が同居(65歳未満の方も同居)	342	34.5	54.1	46.5	50.3	30.7	3.5	1.2	34.2	8.5	6.7	0.9	11.7	0.3
その他	50	28.0	52.0	30.0	44.0	28.0	4.0	—	26.0	10.0	10.0	4.0	22.0	2.0

4 困りごとの相談先について

問 21 あなたは、介護や保健・福祉に関する情報をどこから知ることが多いですか。
(〇はいくつでも)

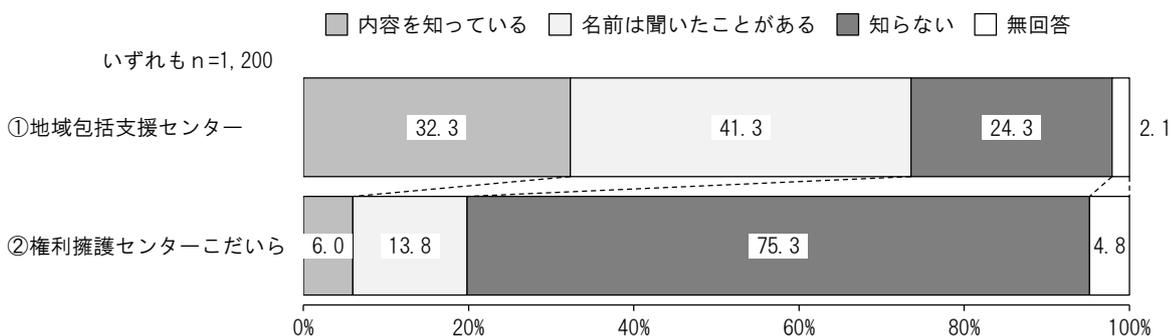
「市報こだいら」が70.6%と最も高く、次いで「新聞・雑誌・書籍」が39.6%、「テレビ・ラジオ」が38.4%となっています。



問 22 あなたは、以下の相談窓口を知っていますか。(①②それぞれ1つに〇)

地域包括支援センターについては、「内容を知っている」が32.3%、「名前は聞いたことがある」が41.3%と、約70%に知られているとなっています。

権利擁護センターこだいらについては、「内容を知っている」が6.0%、「名前は聞いたことがある」が13.8%で、約20%に知られているとなっています。



【居住地域別】

①地域包括支援センター ②権利擁護センターこだい

単位：%

区分	有効回答数 (件)	知っている内容を知っている		名前が聞かれない		知らない		無回答	
		①	②	①	②	①	②	①	②
西圏域	233	30.9	4.7	48.9	14.6	18.9	75.1	1.3	5.6
中央西圏域	249	33.3	8.0	36.1	14.5	28.1	73.9	2.4	3.6
中央圏域	76	40.8	7.9	30.3	22.4	26.3	64.5	2.6	5.3
中央東圏域	295	32.9	6.1	39.7	12.9	25.4	75.9	2.0	5.1
東圏域	339	29.5	4.7	43.7	11.2	24.5	79.4	2.4	4.7

①地域包括支援センター

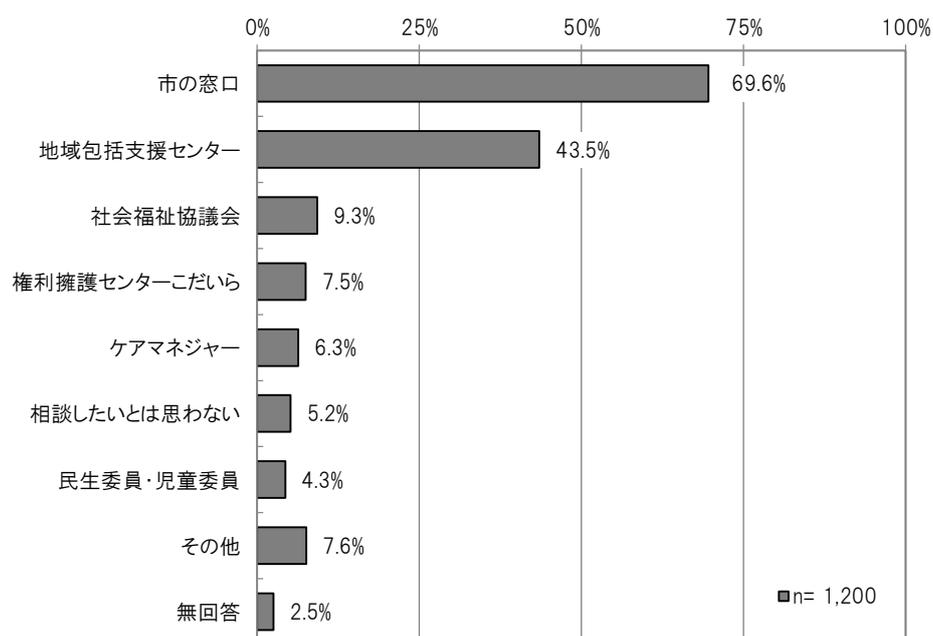
介護・保健・福祉の専門職がチームとなって、高齢者の健康・福祉・医療に関する様々な相談を受けています。高齢者の見守り、高齢者虐待への対応などの支援を行う、地域の総合的な相談窓口です。

②権利擁護センターこだい

認知症状や知的障がい・精神障がいなどで、介護や福祉のサービスの選択や契約、日々の金銭管理が難しくなった方に対し、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度、苦情の相談、法律専門相談を実施している窓口です。

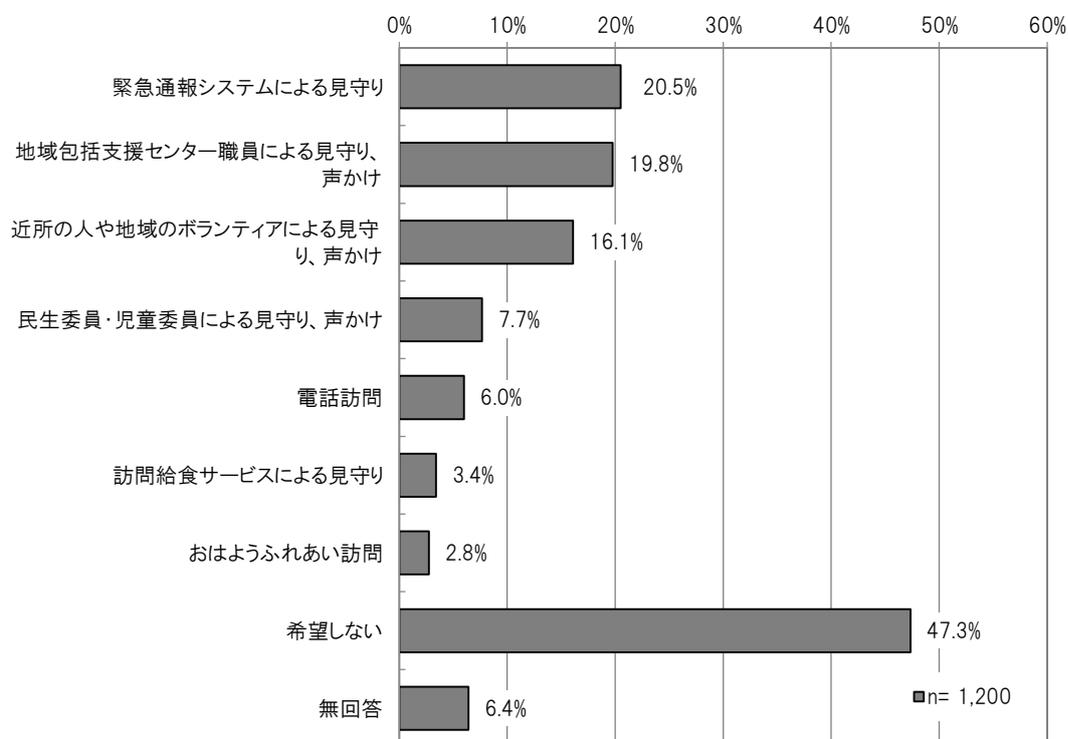
問23 あなたは、暮らしの問題や福祉などについて困りごとがあった場合、どちらの窓口や支援者に相談しますか。(〇はいくつでも)

「市の窓口」が69.6%と最も高く、次いで「地域包括支援センター」が43.5%となっています。



問 24 あなたは、次のような見守りや声かけを希望しますか。(〇はいくつでも)

「希望しない」が 47.3%と最も高く、次いで「緊急通報システムによる見守り」が 20.5%、「地域包括支援センター職員による見守り、声かけ」が 19.8%となっています。



【世帯構成別】

世帯構成別にみると、ひとり暮らしで「緊急通報システムによる見守り」が他と比べて高くなっています。

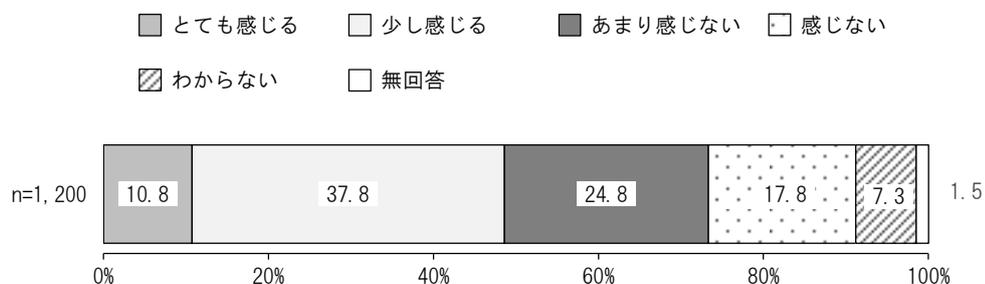
単位：%

区分	有効回答数(件)	近所の人や地域のボランティアによる見守り、声かけ	地域包括支援センター職員による見守り、声かけ	民生委員・児童委員による見守り、声かけ	訪問給食サービスによる見守り	おはようふれあい訪問	電話訪問	緊急通報システムによる見守り	希望しない	無回答
ひとり暮らし	183	16.4	21.9	4.9	4.4	2.7	8.7	29.0	40.4	4.9
夫婦ふたり暮らし(配偶者は65歳以上)	473	19.9	20.1	7.8	3.8	3.6	4.7	20.3	46.5	6.1
夫婦ふたり暮らし(配偶者は65歳未満)	95	11.6	21.1	9.5	2.1	1.1	5.3	17.9	55.8	3.2
その他の家族が同居(全員65歳以上)	46	4.3	17.4	13.0	2.2	4.3	—	13.0	47.8	6.5
その他の家族が同居(65歳未満の方も同居)	342	14.6	18.7	7.6	3.2	2.0	7.3	19.6	49.7	6.7
その他	50	10.0	18.0	8.0	2.0	2.0	6.0	12.0	46.0	16.0

5 地域とのつながり、交流について

問 25 あなたがお住まいの地区には、地域の人たちのつながりはあると感じますか。
(1つに○)

「とても感じる」と「少し感じる」をあわせた“感じる”が48.6%、「あまり感じない」と「感じない」をあわせた“感じない”が42.6%となっています。



【居住地域別】

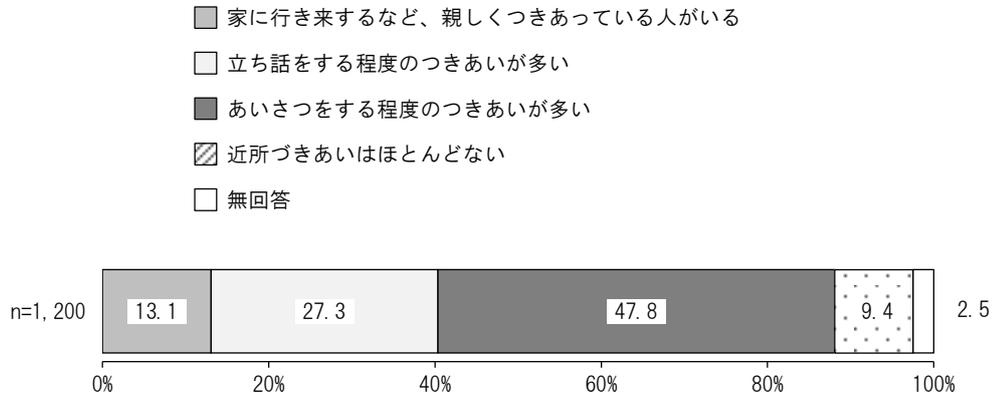
居住地域別にみると、中央圏域で「感じない」が他と比べて高くなっています。

単位：%

区分	有効回答数 (件)	とても感じる	少し感じる	あまり感じない	感じない	わからない	無回答
西圏域	233	12.4	40.8	23.2	16.3	5.6	1.7
中央西圏域	249	14.5	37.8	21.3	15.3	10.0	1.2
中央圏域	76	5.3	38.2	21.1	22.4	10.5	2.6
中央東圏域	295	8.5	38.3	23.7	18.6	8.5	2.4
東圏域	339	10.0	36.0	29.8	18.6	5.0	0.6

問 26 あなたは普段、どの程度の近所づきあいをしていますか。(近いもの1つに○)

「あいさつをする程度のつきあいが多い」が47.8%と最も高く、次いで「立ち話をする程度のつきあいが多い」が27.3%、「家に行き来するなど、親しくつきあっている人がいる」が13.1%となっています。



【性別】

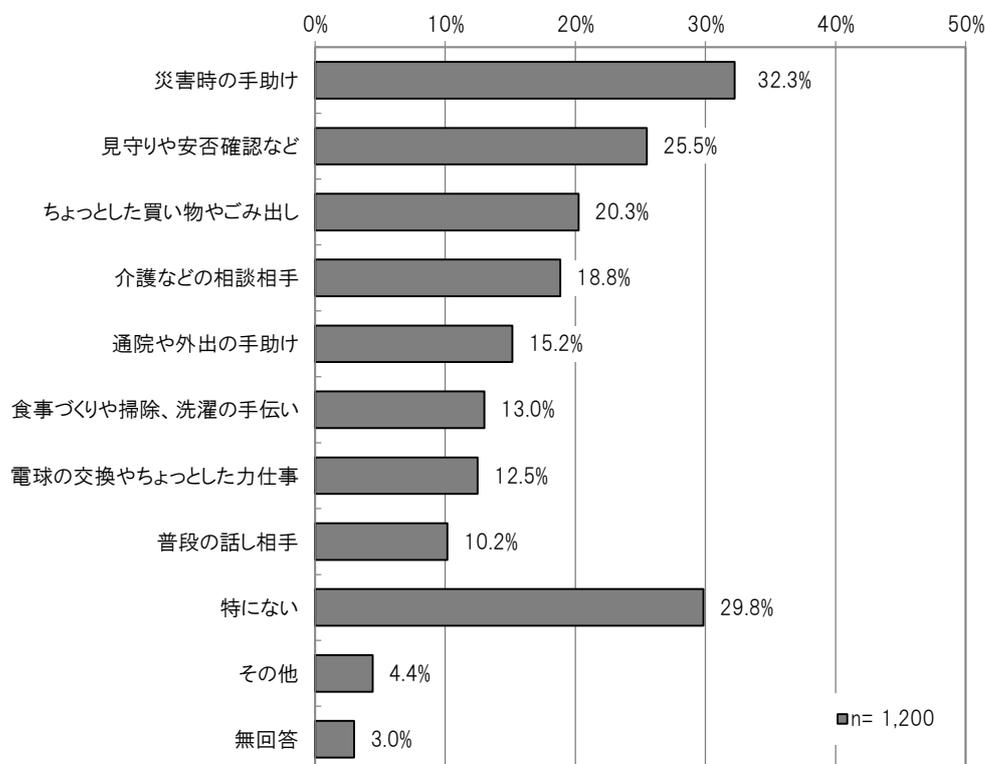
性別にみると、男性・女性ともに「あいさつをする程度のつきあいが多い」が最も高くなっています。また、女性では「家に行き来するなど、親しくつきあっている人がいる」、「立ち話をする程度のつきあいが多い」が男性に比べて高くなっています。

単位：%

区分	有効回答数(件)	家に行き来するなど、親しくつきあっている人がいる	立ち話をする程度のつきあいが多い	あいさつをする程度のつきあいが多い	近所づきあいはほとんどない	無回答
男性	589	6.6	20.7	58.9	12.2	1.5
女性	604	19.4	33.3	37.1	6.8	3.5

問27 あなたは、病気などで日常生活が不自由になったとき、地域の人たちにどのような手助けをしてほしいですか。(〇はいくつでも)

「災害時の手助け」が32.3%と最も高く、次いで「特にない」が29.8%、「見守りや安否確認など」が25.5%となっています。



【近所づきあいの程度別】

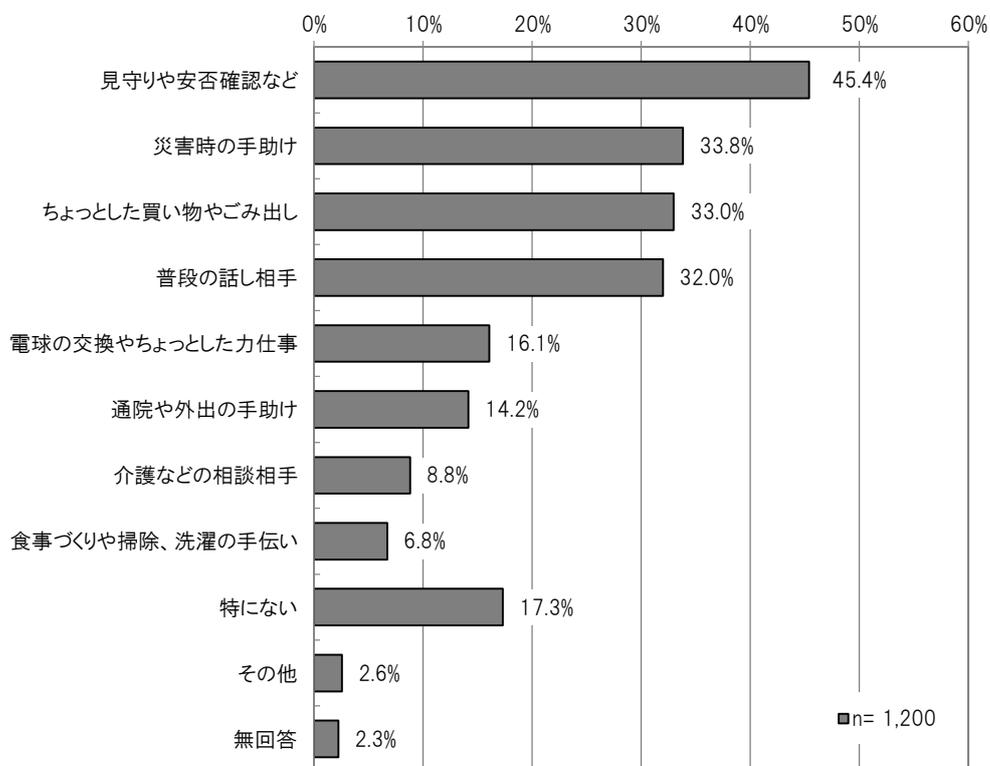
近所づきあいの程度別にみると、近所づきあいの程度が高いほど、「見守りや安否確認など」、「介護などの相談相手」、「ちょっとした買い物やごみ出し」が高くなっています。また、近所づきあいの程度が低いほど、「特にない」が高くなっています。

単位：%

区分	有効回答数(件)	見守りや安否確認など	普段の話し相手	介護などの相談相手	み出し	ちょっとした買い物やごみ出し	食事づくりや掃除、洗濯の手伝い	電球の交換やちょっとした力仕事	通院や外出の手助け	災害時の手助け	その他	特にない	無回答
家に行き来するなど、親しくつきあっている人がいる	157	32.5	14.6	23.6	23.6	19.7	17.2	18.5	31.2	7.0	20.4	0.6	
立ち話をする程度のつきあいが多い	327	32.7	15.6	23.5	20.2	11.0	11.3	14.1	36.4	4.3	24.2	3.7	
あいさつをする程度のつきあいが多い	573	22.7	6.8	17.1	20.6	12.9	12.2	15.0	32.3	3.3	33.0	1.7	
近所づきあいはほとんどない	113	11.5	6.2	9.7	15.9	12.4	13.3	16.8	23.9	4.4	46.0	1.8	

問 28 高齢者など地域の住民が安心して暮らしていけるように、あなた自身ができる手助けは何ですか。(〇はいくつでも)

「見守りや安否確認など」が45.4%と最も高く、次いで「災害時の手助け」が33.8%、「ちょっとした買い物やごみ出し」が33.0%となっています。



【性別】

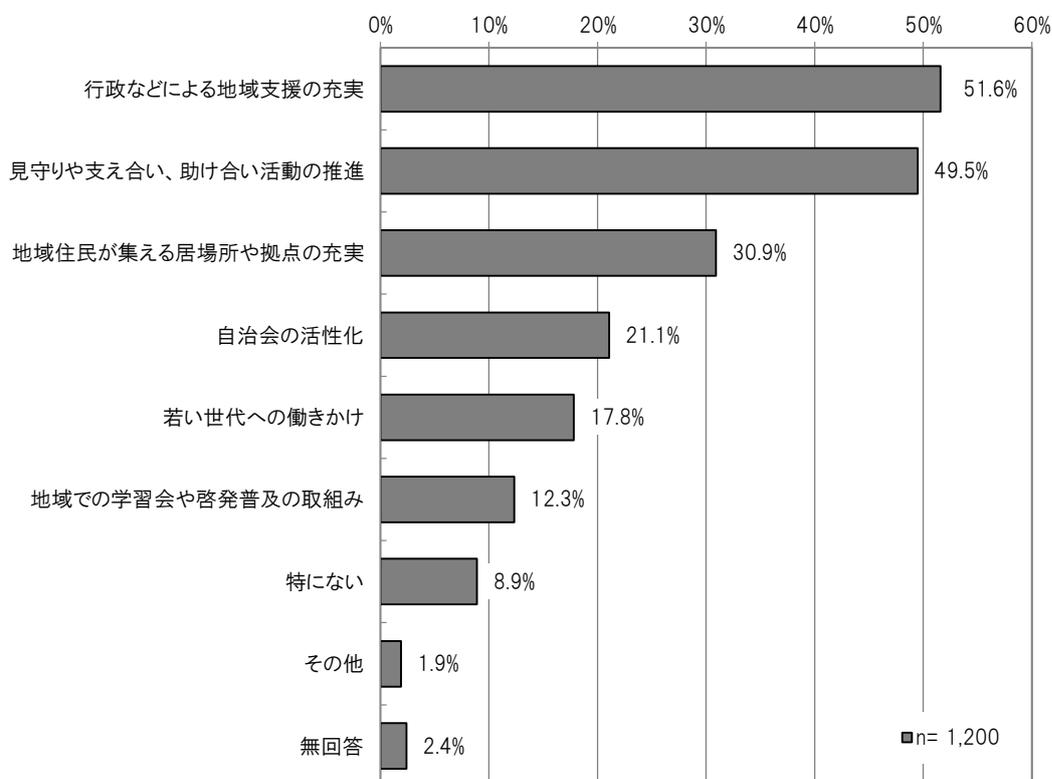
性別にみると、男性は女性に比べて「電球の交換やちょっとした力仕事」、「災害時の手助け」が高くなっています。女性は男性に比べて「見守りや安否確認など」、「普段の話し相手」、「ちょっとした買い物やごみ出し」が高くなっています。

単位：%

区分	有効回答数(件)	見守りや安否確認など	普段の話し相手	介護などの相談相手	ちょっとした買い物やごみ出し	食事づくりや掃除、洗濯の手伝い	電球の交換やちょっとした力仕事	通院や外出の手助け	災害時の手助け	その他	特にない	無回答
男性	589	42.3	22.8	7.1	26.5	3.9	27.5	14.3	44.3	2.5	19.5	2.2
女性	604	48.5	40.7	10.6	39.4	9.6	5.1	14.1	23.8	2.6	15.4	2.3

問 29 地域の担い手が少なくなっている現状において、地域住民が地域の課題を自分のこととして、取り組んでいくための有効な手段は何だと思えますか。
(〇はいくつでも)

「行政などによる地域支援の充実」が51.6%と最も高く、次いで「見守りや支え合い、助け合い活動の推進」が49.5%、「地域住民が集える居場所や拠点の充実」が30.9%となっています。



【居住地域別】

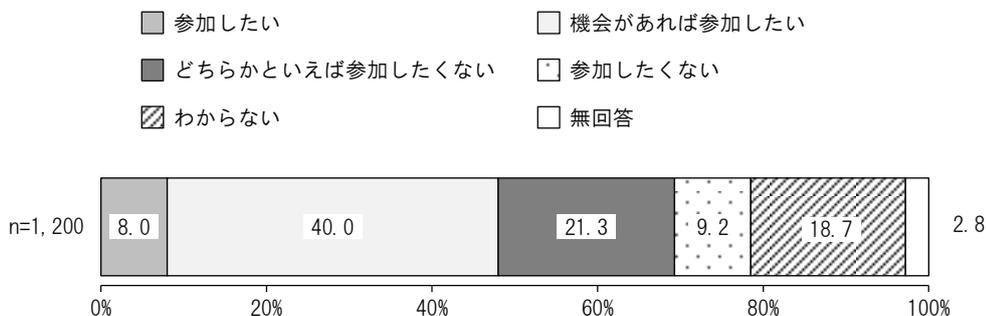
居住地域別にみると、東圏域では「見守りや支え合い、助け合い活動の推進」が51.3%と最も高くなっています。

単位：%

区分	有効回答数 (件)	見守りや支え合い、助け合い活動の推進	地域での学習会や啓発普及の取組み	地域住民が集える居場所や拠点の充実	自治会の活性化	若い世代への働きかけ	行政などによる地域支援の充実	その他	特にない	無回答
西圏域	233	47.6	12.0	35.2	23.2	17.2	51.9	0.9	9.9	1.7
中央西圏域	249	49.0	12.9	34.9	26.5	16.1	55.0	2.4	7.6	3.2
中央圏域	76	46.1	6.6	23.7	17.1	23.7	55.3	1.3	9.2	2.6
中央東圏域	295	49.8	12.2	28.8	21.0	18.6	50.8	2.7	8.5	2.0
東圏域	339	51.3	13.9	28.3	16.5	17.7	48.7	1.8	9.7	2.4

問 30 身近な場所に、地域住民などが集まる交流の場（サロンなど）があれば、参加したいと思いますか。すでに参加している方も、今後の希望をお答えください。
（1つに○）

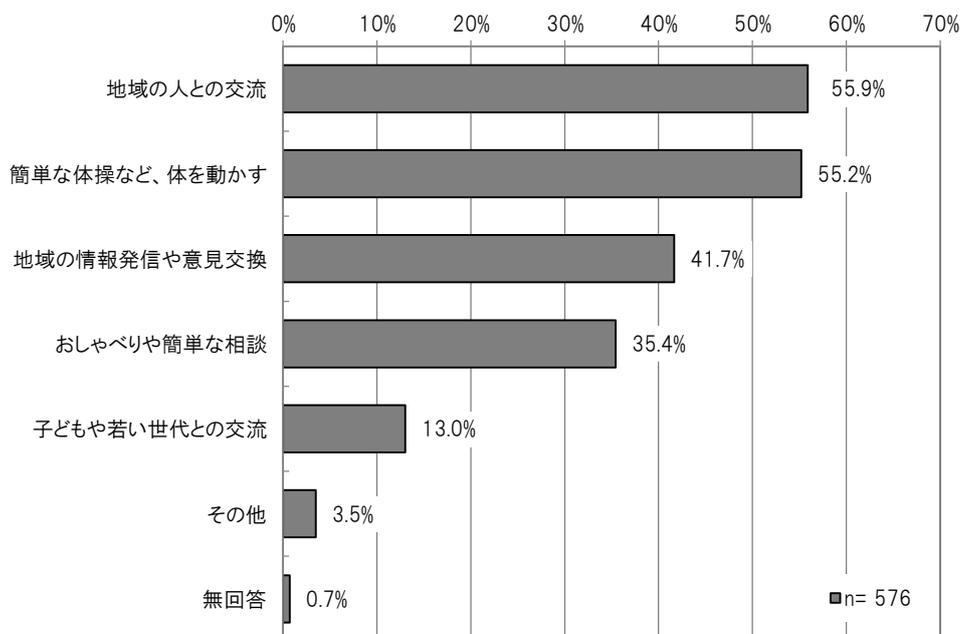
「参加したい」と「機会があれば参加したい」をあわせた“参加したい”の割合が48.0%、「どちらかといえば参加したくない」と「参加したくない」をあわせた“参加したくない”の割合が30.5%となっています。



問 30 で「1. 参加したい」または「2. 機会があれば参加したい」と回答した方におたずねします。

問 31 交流の場（サロンなど）で、どのようなことを行ってほしいと思いますか。
（○はいくつでも）

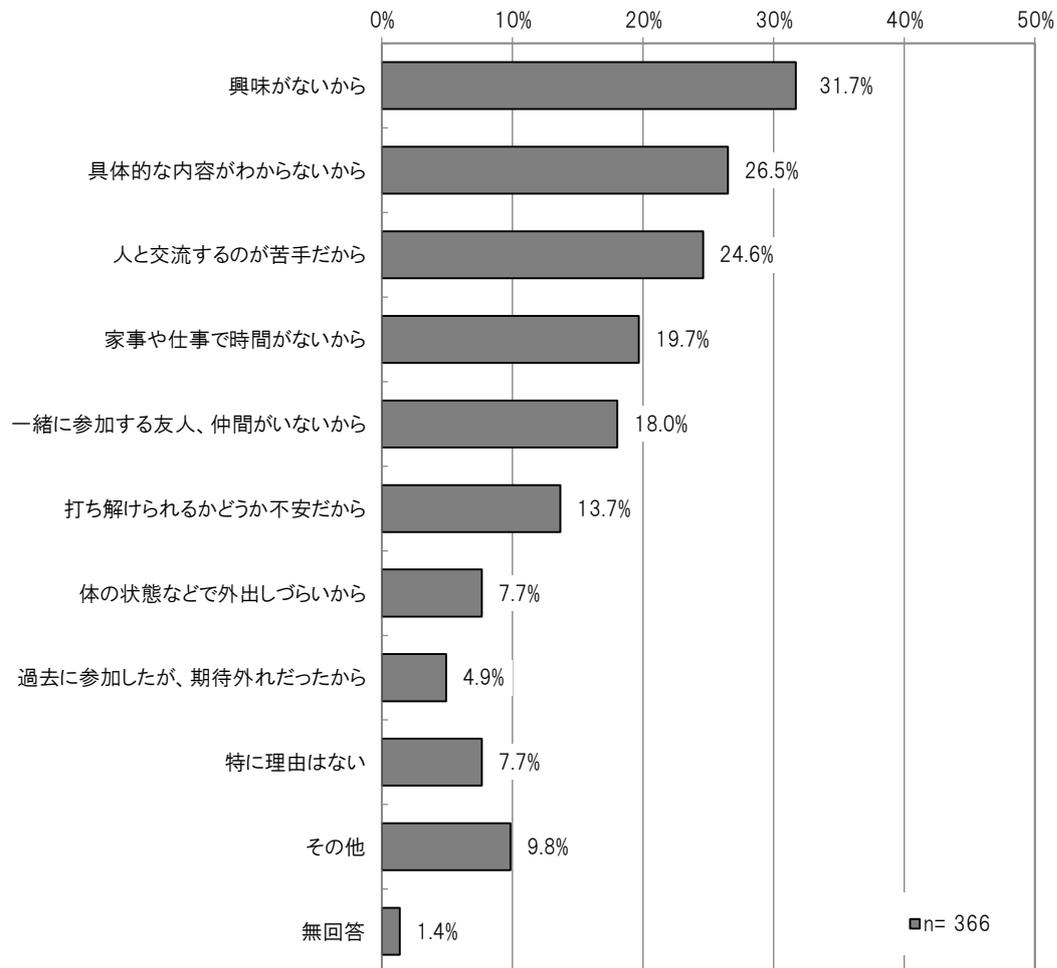
「地域の人との交流」が55.9%と最も高く、次いで「簡単な体操など、体を動かす」が55.2%、「地域の情報発信や意見交換」が41.7%となっています。



問30で「3. どちらかといえば参加したくない」または「4. 参加したくない」と回答した方におたずねします。

問32 参加したくない理由は何ですか。(○はいくつでも)

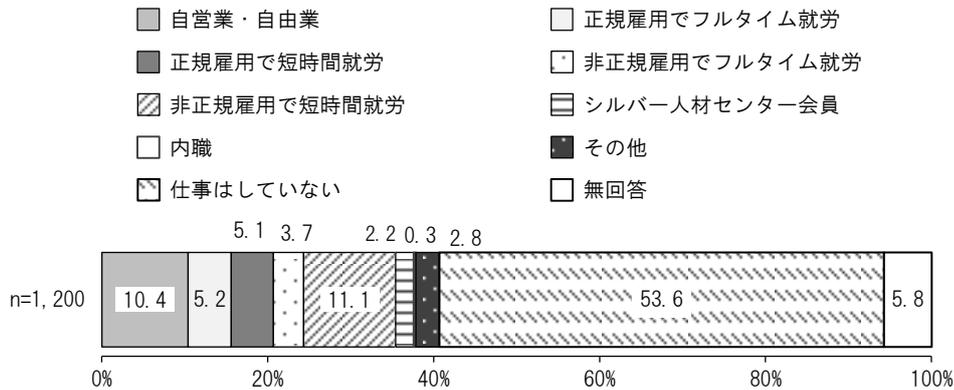
「興味がないから」が31.7%と最も高く、次いで「具体的な内容がわからないから」が26.5%、「人と交流するのが苦手だから」が24.6%となっています。



6 就労・社会参加について

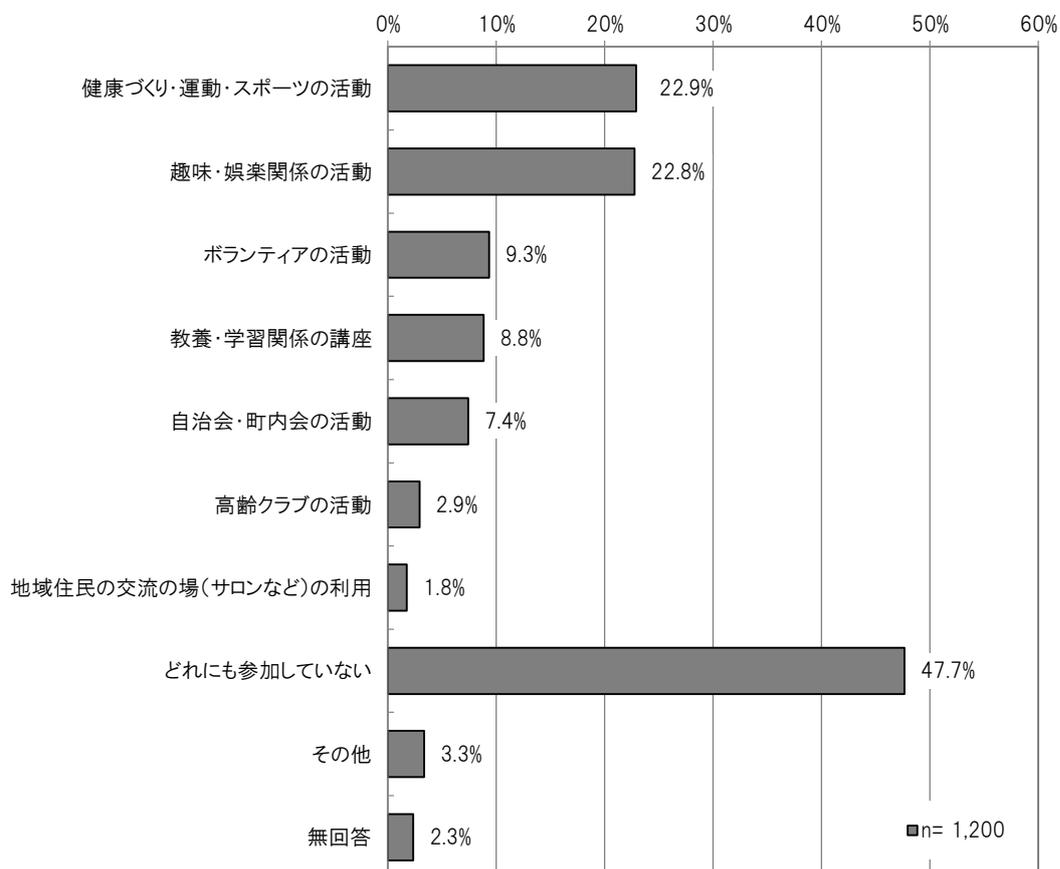
問 33 あなたは現在、収入を得る仕事をしてしていますか。仕事をしている方は、就労形態をお答えください。(1つに○)

「仕事はしていない」が53.6%と最も高くなっています。また、正規、非正規雇用、フルタイム、短時間就労のいずれかの形態で就労されている方が25.1%、「自営業・自由業」が10.4%となっています。



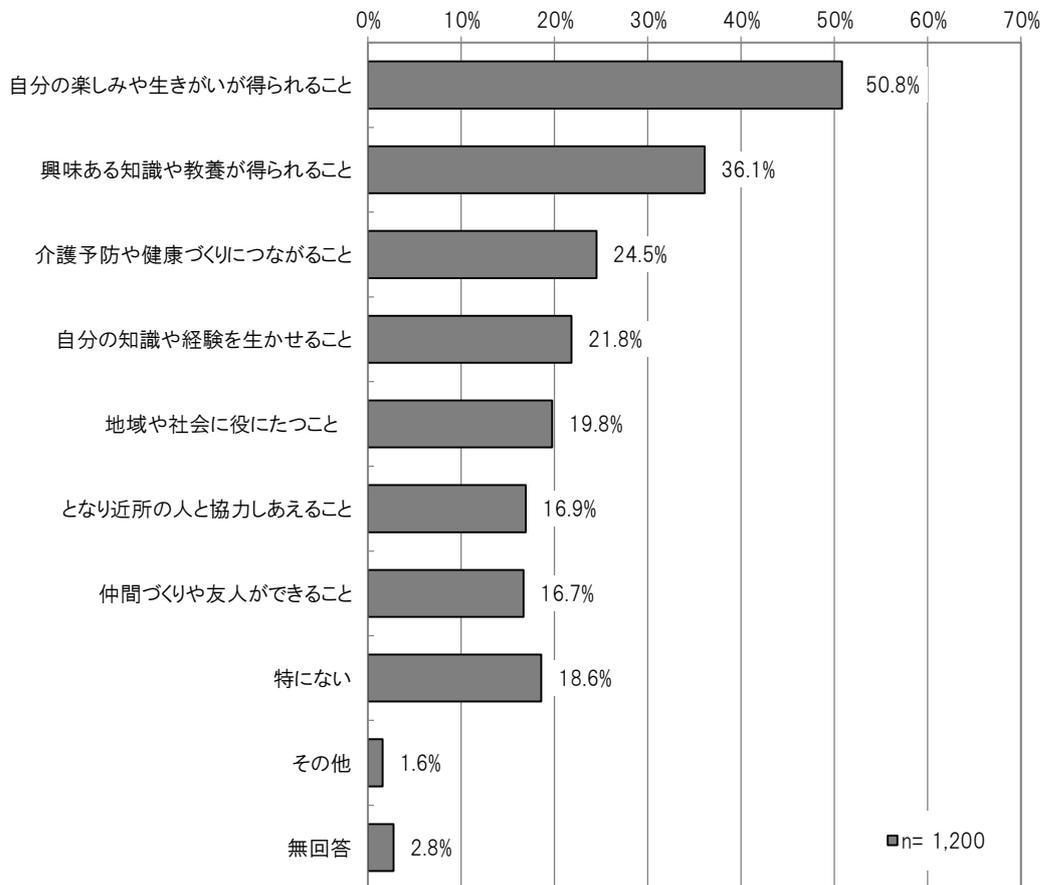
問 34 あなたは、現在、次のようなサークル活動（友人・知人同士のグループも含む）に参加していますか。(○はいくつでも)

「どれにも参加していない」が47.7%で最も高く、次いで「健康づくり・運動・スポーツの活動」が22.9%、「趣味・娯楽関係の活動」が22.8%となっています。



問 35 あなたが、今後取り組んでみたいことはありますか。(〇はいくつでも)

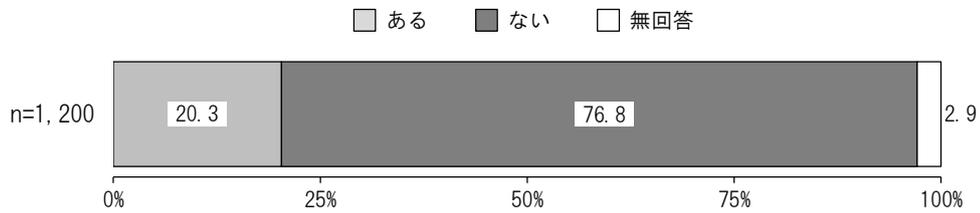
「自分の楽しみや生きがいが得られること」が50.8%と最も高く、次いで「興味ある知識や教養が得られること」が36.1%、「介護予防や健康づくりにつながること」が24.5%となっています。



7 物忘れや判断力について

問 36 あなたは、半年以上継続して、物忘れや理解力・判断力の低下などによる日常生活の影響を感じたことはありますか。(1つに○)

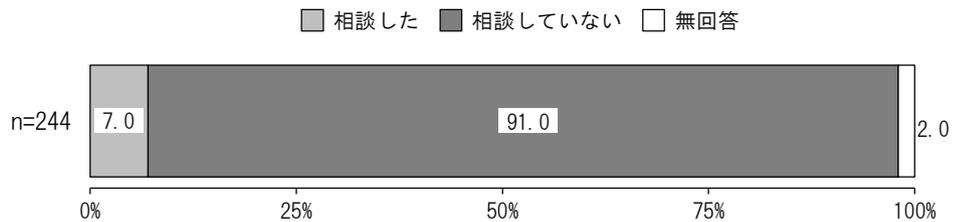
「ある」が20.3%、「ない」が76.8%となっています。



問 36 で感じたことが「1. ある」と回答した方におたずねします。

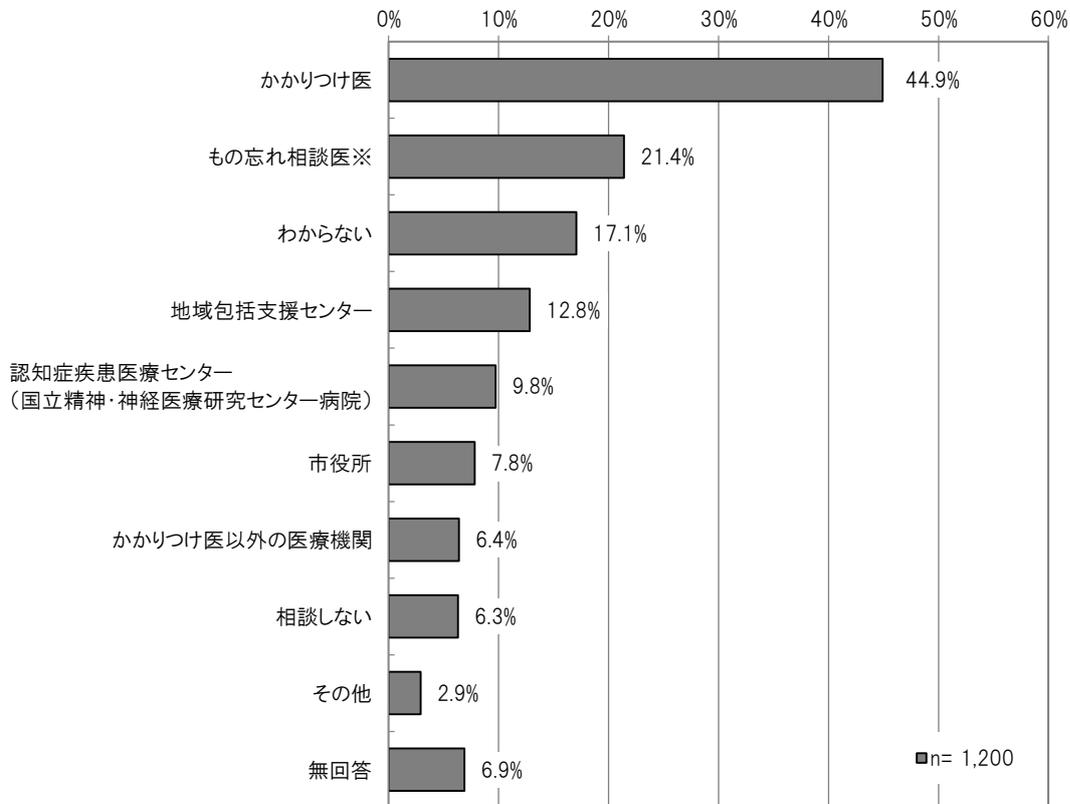
問 37 物忘れや理解力・判断力の低下などについて、どこかへ相談しましたか。(1つに○)

「相談した」が7.0%、「相談していない」が91.0%となっています。



問 38 あなたは、物忘れなどについて相談する場合、どちらの窓口にご相談しますか。
(〇はいくつでも)

「かかりつけ医」が 44.9%と最も高く、次いで「もの忘れ相談医※」が 21.4%、「わからない」が 17.1%、「地域包括支援センター」が 12.8%となっています。

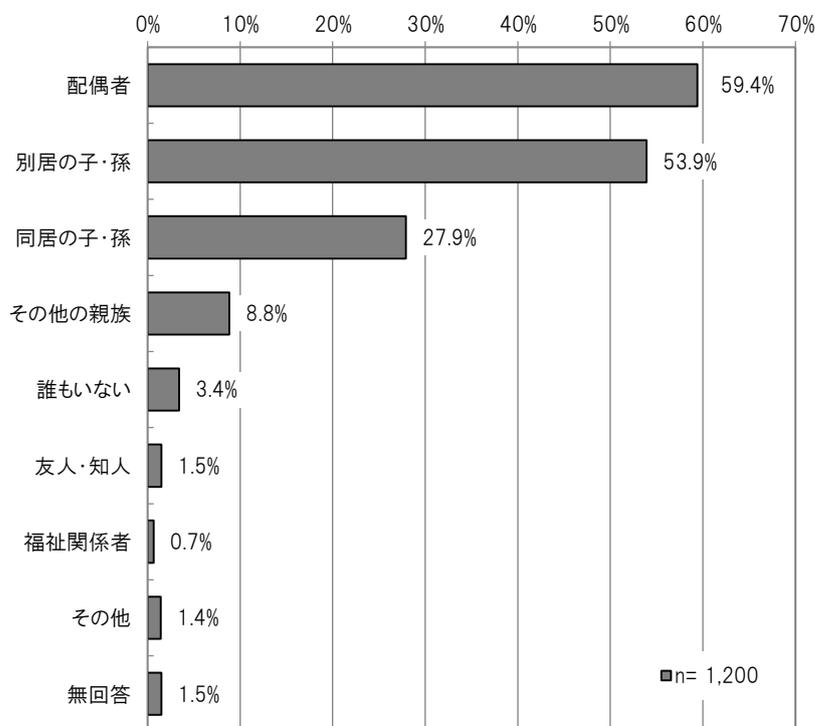


※もの忘れ相談医

ふだん診療していない人に対しても、認知症の相談を受け付け、認知症の診断ができる病院等を紹介する医療機関で、小平市独自の制度です。

問 39 あなたは将来、認知に不安を抱えるようになったときに、金銭の管理などをまかせられる人はいますか。(〇はいくつでも)

「配偶者」が 59.4%と最も高く、次いで「別居の子・孫」が 53.9%、「同居の子・孫」が 27.9% となっています。



【世帯構成別】

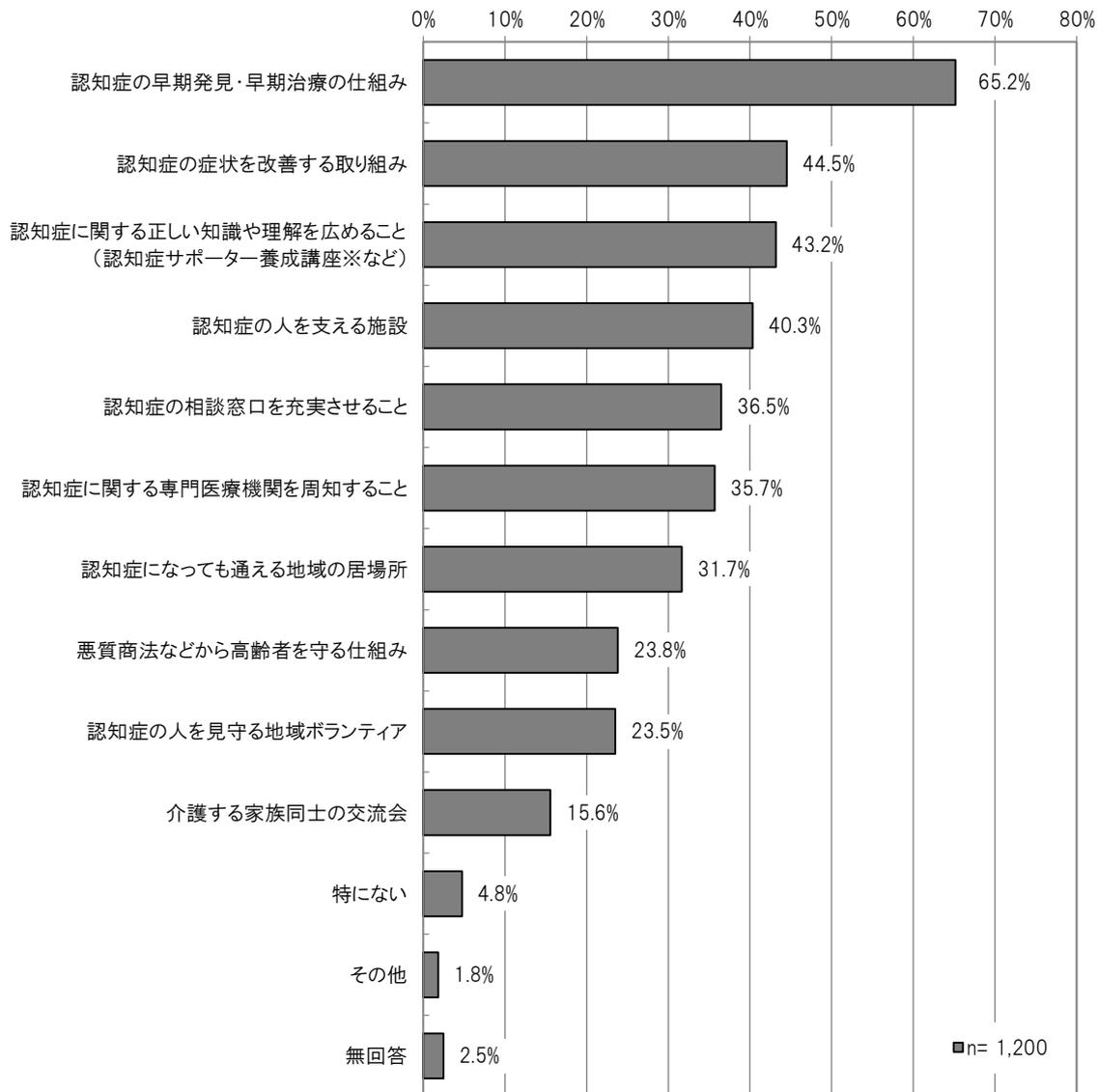
世帯構成別にみると、夫婦ふたり暮らし世帯では「配偶者」が他と比べて高くなっています。ひとり暮らし世帯では「誰もいない」が他と比べて高くなっています。また、その他の家族が同居の世帯では「同居の子・孫」が他と比べて高くなっています。

単位：%

区分	有効回答数 (件)	配偶者	同居の子・孫	別居の子・孫	その他の親族	友人・知人	福祉関係者	その他	誰もいない	無回答
ひとり暮らし	183	0.5	3.3	51.9	20.8	4.9	3.3	3.3	16.4	2.7
夫婦ふたり暮らし(配偶者は65歳以上)	473	78.0	3.0	73.4	5.7	0.6	0.2	0.8	0.6	1.9
夫婦ふたり暮らし(配偶者は65歳未満)	95	92.6	7.4	53.7	7.4	3.2	—	—	2.1	—
その他の家族が同居(全員65歳以上)	46	28.3	30.4	26.1	28.3	6.5	2.2	4.3	8.7	2.2
その他の家族が同居(65歳未満の方も同居)	342	63.7	75.7	35.4	5.0	—	—	0.3	—	0.9
その他	50	40.0	56.0	36.0	6.0	—	—	8.0	2.0	—

問 40 認知症になっても住み慣れた地域で生活するためには、どのようなことが必要だと思いますか。(〇はいくつでも)

「認知症の早期発見・早期治療の仕組み」が65.2%と最も高く、次いで「認知症の症状を改善する取り組み」が44.5%、「認知症に関する正しい知識や理解を広めること」が43.2%となっています。



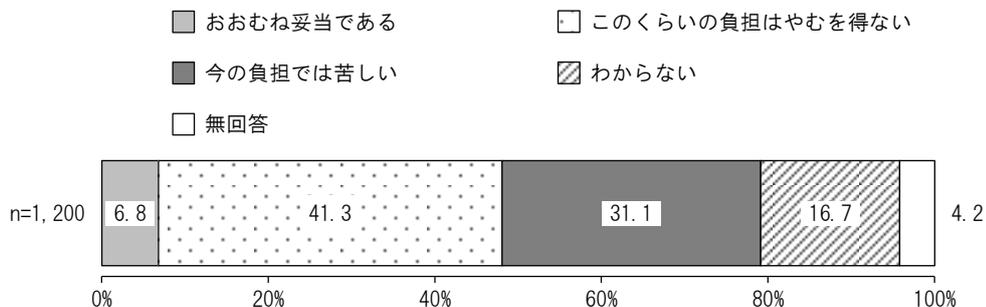
※認知症サポーター養成講座

地域で暮らしている認知症の方やその家族を温かく見守っていただくために、認知症についての正しい知識を学ぶ講座です。

8 介護保険制度について

問 41 現在、所得段階に応じて介護保険料を納めていただいておりますが、あなたの保険料の金額について、どのように感じていますか。(1つに○)

「このくらいの負担はやむを得ない」が41.3%と最も高く、次いで「今の負担では苦しい」が31.1%、「わからない」が16.7%となっています。



【1か月の収入別】

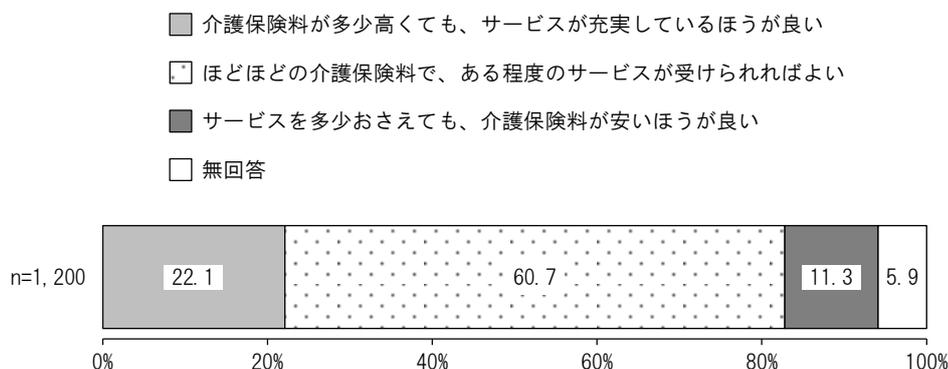
1か月の収入別にみると、5万円未満で「今の負担では苦しい」が他と比べて高くなっています。

単位：%

区分	有効回答数(件)	おおむね妥当である	このくらいの負担はやむを得ない	今の負担では苦しい	わからない	無回答
5万円未満	141	5.0	31.9	37.6	17.7	7.8
5万円以上 10万円未満	286	4.9	39.2	33.9	15.7	6.3
10万円以上 15万円未満	180	7.8	40.6	30.6	17.2	3.9
15万円以上 20万円未満	191	7.9	38.2	35.1	16.2	2.6
20万円以上 30万円未満	229	6.1	46.7	28.4	16.6	2.2
30万円以上	146	9.6	52.1	21.2	15.8	1.4

問 42 介護保険料の金額は、介護保険サービスの整備が進み利用者が増えることによって、介護保険料が高くなる関係にあります。あなたは、保険料の金額と介護保険サービスの水準の関係について、どのように考えますか。(1つに○)

「ほどほどの介護保険料で、ある程度のサービスが受けられればよい」が 60.7%と最も高く、次いで「介護保険料が多少高くても、サービスが充実しているほうが良い」が 22.1%、「サービスを多少おさえても、介護保険料が安いほうが良い」が 11.3%となっています。



【1か月の収入別】

1か月の収入別にみると、30万円以上で「介護保険料が多少高くても、サービスが充実しているほうが良い」が他と比べて高くなっています。

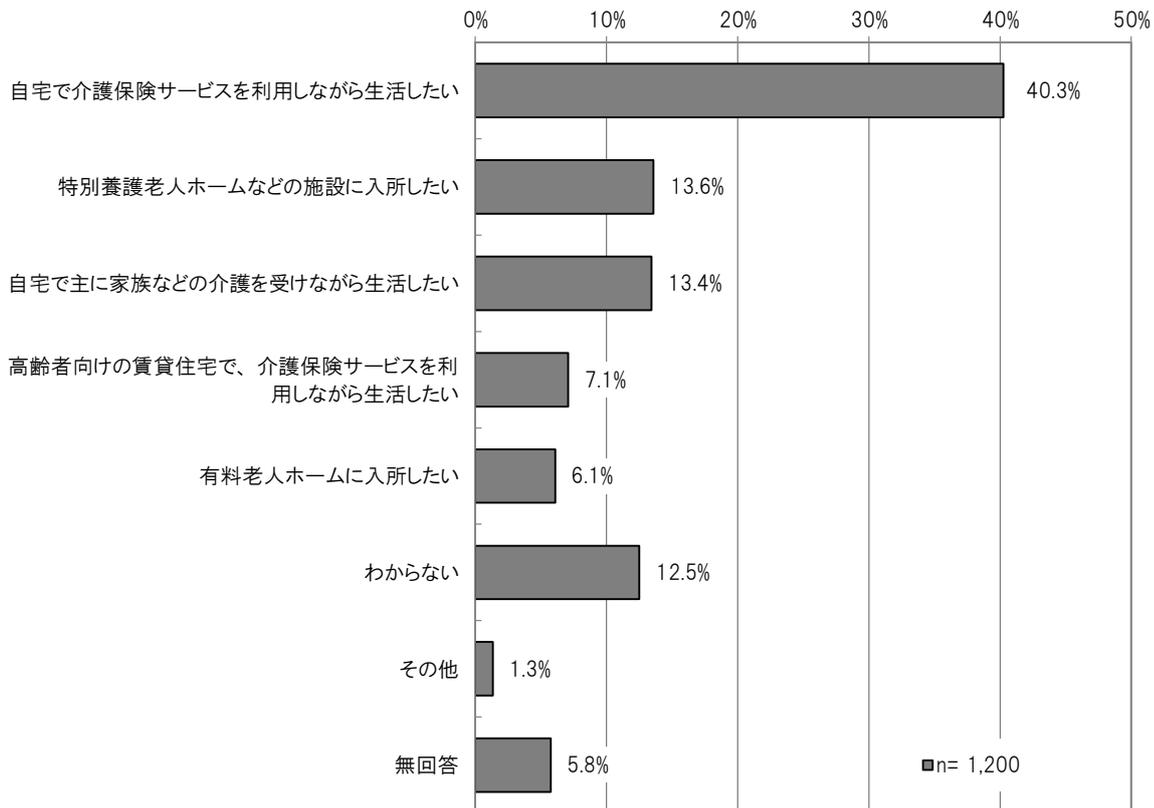
単位：%

区分	有効回答数(件)	介護保険料が多少高くても、サービスが充実しているほうが良い	ほどほどの介護保険料で、ある程度のサービスが受けられればよい	サービスを多少おさえても、介護保険料が安いほうが良い	無回答
5万円未満	141	19.9	58.9	13.5	7.8
5万円以上 10万円未満	286	22.7	59.4	10.8	7.0
10万円以上 15万円未満	180	18.9	60.6	13.3	7.2
15万円以上 20万円未満	191	18.8	64.9	12.6	3.7
20万円以上 30万円未満	229	21.8	64.6	10.0	3.5
30万円以上	146	30.8	56.2	8.2	4.8

9 今後の生活について

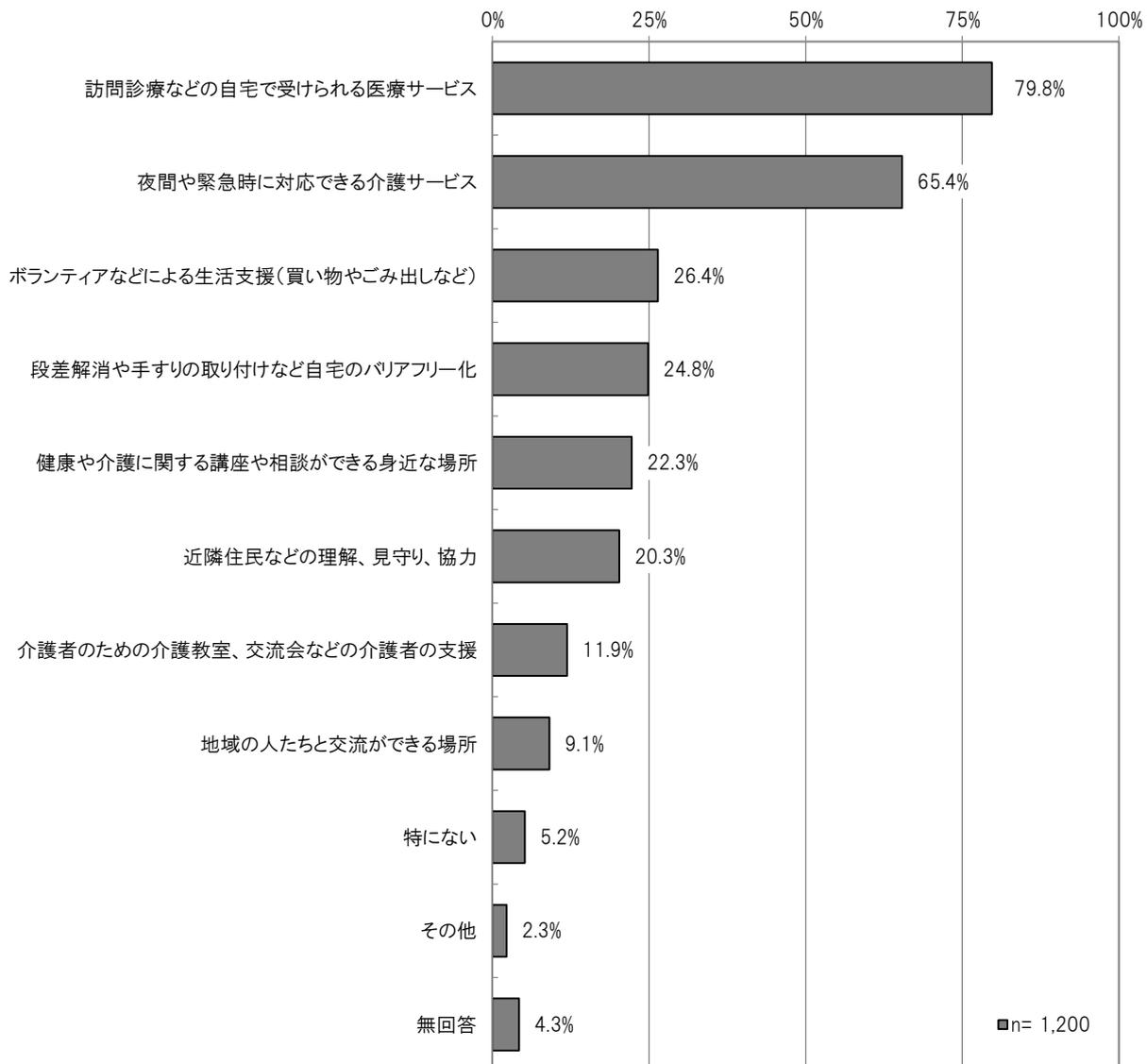
問 43 あなたは、介護が必要になった場合、どのような介護のあり方を希望しますか。
(1つに○)

「自宅で介護保険サービスを利用しながら生活したい」が40.3%と最も高く、次いで「特別養護老人ホームなどの施設に入所したい」が13.6%、「自宅で主に家族などの介護を受けながら生活したい」が13.4%となっています。



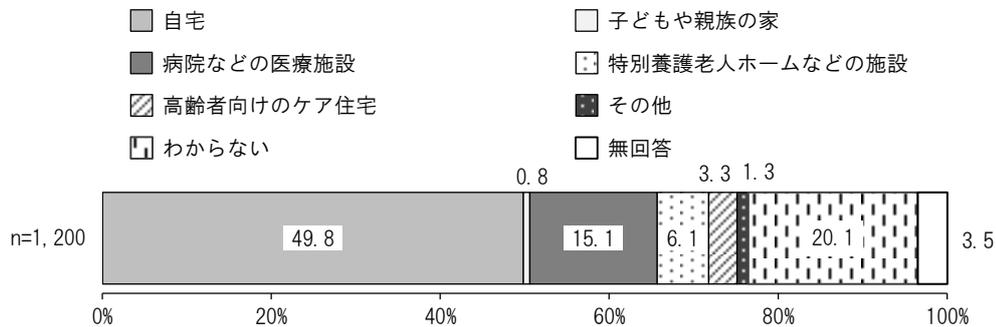
問 44 介護が必要になっても、あなたが自宅で暮らし続けるために必要なことは、どのようなことだと思いますか。(〇はいくつでも)

「訪問診療などの自宅で受けられる医療サービス」が79.8%と最も高く、次いで「夜間や緊急時に対応できる介護サービス」が65.4%、「ボランティアなどによる生活支援（買い物やごみ出しなど）」が26.4%となっています。



問 45 あなたは人生の最期をどこで迎えたいと思いますか。(1つに○)

「自宅」が49.8%と最も高く、次いで「わからない」が20.1%、「病院などの医療施設」が15.1%となっています。



【世帯構成別】

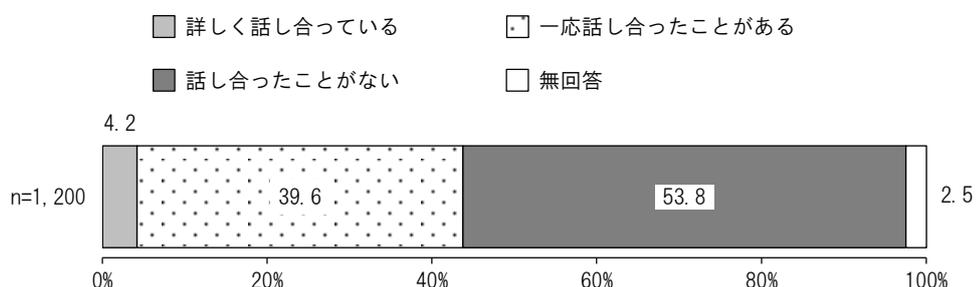
世帯構成別にみると、ひとり暮らしで「特別養護老人ホームなどの施設」が他と比べて高くなっています。

単位：%

区分	有効回答数(件)	自宅	子どもや親族の家	病院などの医療施設	特別養護老人ホームなどの施設	高齢者向けのケア住宅	その他	わからない	無回答
ひとり暮らし	183	39.3	2.2	12.0	10.9	7.7	2.2	22.4	3.3
夫婦ふたり暮らし(配偶者は65歳以上)	473	49.9	0.4	16.1	4.2	2.5	1.1	20.9	4.9
夫婦ふたり暮らし(配偶者は65歳未満)	95	50.5	—	15.8	6.3	3.2	—	23.2	1.1
その他の家族が同居(全員65歳以上)	46	45.7	2.2	19.6	6.5	2.2	4.3	15.2	4.3
その他の家族が同居(65歳未満の方も同居)	342	55.0	—	13.7	6.7	2.9	1.2	18.4	2.0
その他	50	54.0	2.0	20.0	—	—	2.0	16.0	6.0

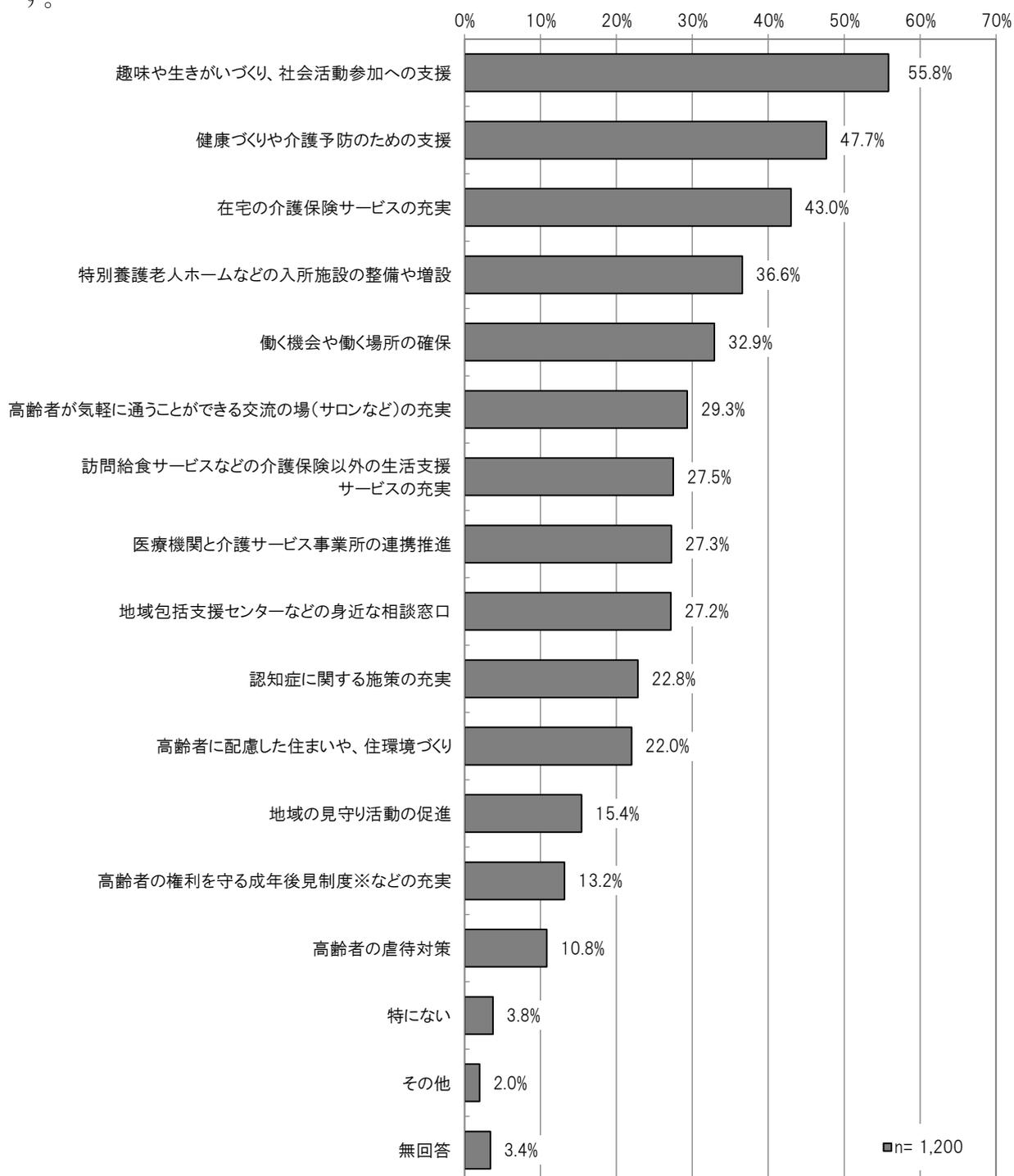
問 46 あなたは、人生の最期の過ごし方や受けた医療などについて、家族や友人と話し合ったことがありますか。(1つに○)

「話し合ったことがない」が53.8%と最も高く、次いで「一応話し合ったことがある」が39.6%、「詳しく話し合っている」が4.2%となっています。



問 47 あなたは、高齢者がいきいきと心豊かに暮らすためには、どのような取り組みが重要だと思いますか。(〇はいくつでも)

「趣味や生きがいがづくり、社会活動参加への支援」が55.8%と最も高く、次いで「健康づくりや介護予防のための支援」が47.7%、「在宅の介護保険サービスの充実」が43.0%となっています。



※成年後見制度

高齢者や障がい者など、判断能力が十分ではない方の権利を守る制度です。成年後見人等が契約や手続きなどを代行したり、本人が誤って結んだ契約を取り消したりします。

10 自由意見

問 48 小平市の高齢者施策について、ご意見・ご要望などがありましたら、ご自由にお書きください。

自由意見は 246 件でした。「行政」についての意見が 99 件と最も多く、次いで「医療・健康・介護予防」が 28 件、「介護保険制度」が 23 件となっています。

	分野	件
1	行政	99
2	医療・健康・介護予防	28
3	介護保険制度	23
4	社会参加・交流	22
5	施設サービス	17
6	生活や将来のこと	14
—	その他	43
回答者数		246

①行政（99 件）

回答の概要	年齢・性別 回答者
65才以上の人に対して、高齢者施策の現状の説明会を受けられる機会を作ってほしい。また、障がい者に対しては、訪問して説明を行ってほしい。	67歳・男性
行政は平均点を狙うしかない。それでよい。	67歳・男性
施設に入所できない人（在宅で最後をむかえる人）に対して、どのようなサービスがあるのかを周知してほしい。	69歳・女性
行政による施策が充実しても、それらが肝心の対象者に周知されていないケースが多い。またインターネットへのアクセスがない人達や、自分での移動が困難な人達には利用機会が制限される。実効性が高まる工夫をお願いしたい。	68歳・男性
人生の終りまでを受け持つ市民後見人、大変だけど、とても大事な仕事です。行政手続きがもう少し簡略化し、印鑑も少なくなることを望みます。	71歳・女性
高齢者が自分らしく毎日を楽しく送ることの出来る生活。困った時に家族が相談出来る、かけ込み窓口の充実。	71歳・女性
身近に相談できるケースワーカー、及びケア・ホームの充実。	76歳・女性
高齢者と言ってもいろいろなので、生活費に困っていると、知識がなくて、方法がわからないとか、個々の必要なことにまで、踏み込んでほしい。	68歳・女性
交流の場（サロンなど）が近くにない。近所の学校などに、交流の場（サロン等）を設けて欲しい。参加したくてもアクセスが悪く参加できない。避難場所も遠い。	70歳・女性
幅広い年齢層の人々が住む街づくりにご尽力頂ければ、高齢者もより活気付くと思います。高齢者だけが住むような街とならない施策に期待します。	67歳・男性

回答の概要	年齢・性別 回答者
今はまだ健康で妻も元気にしており、状況がさしせまっていないことから、高齢者施策を真剣に自分の問題としてとらえていないのが現状です。確実にそういう時期がくるわけで、市の行政には、このようなアンケートや市報でのコミュニケーション、勉強会等、予算の問題はあるかと思いますが高齢者への気付き、自覚、準備等のための働きかけをお願いしたい。	67歳・男性
今のところ他人の世話にならなくても毎日を幸福に過ごしていますが、体が動かなくなった時に、支援を依頼する窓口を充実して、きめこまかい相談にのってくれるシステムづくりをお願いします。	81歳・女性
市民本位の施策を実施していただくことを願う。	67歳・男性
将来の人口減に伴い、介護活動が減ることのないよう先を見越した施策をつくっていただければと思います。	68歳・男性

②医療・健康・介護予防（28件）

回答の概要	年齢・性別 回答者
在宅医療の不足、地域の支えあい（コミュニティ）の薄さ、在宅医療介護連携推進協議会のメンバーに、市民の代表、患者の代表が入っていない。	73歳・男性
今後、在宅医療についての情報を得たいと考えています。特別養護老人ホームを申請しつつ、待っている間に、在宅医療を希望いたします。行政と医療機関の連携で、地域に密着した、良い医療機関を増やして頂きたいです。	74歳・女性
認知症予防についていろいろ講義されていると思いますが、たった1回の講義より実技（ゆるやかな運動）を取り入れてほしいです。	71歳・女性
超高齢化時代、高齢者への医療費補助も大切ですが、健康寿命を延ばしていくために、健康づくりや介護予防、認知症予防の施策が今後は何より重要と思います。	68歳・女性
高齢になっても、食事や体を適度に動かすことに習慣づけて、健康でいることが大事です。公民館、地域センター、健康センター、体育館などで、様々な事業が催されていますが、単発だったり、費用がかかったりします。いつでも、その場に行けば誰でもが、参加できるいいの場、体を動かす場などが必要と考えます。	74歳・女性
フレイル対策の強化、老々介護者の援助、訪問診療や往診施設を増やして欲しい。	88歳・男性
健康寿命を伸ばす努力を行政も自分自身も果たすべきだと思う。	67歳・男性
今の体力を維持できるような施策を行ってほしい。	69歳・男性

③介護保険制度（23件）

回答の概要	年齢・性別 回答者
介護保険料があまりにも高い。年金生活者には厳しい。	75歳・男性
高齢者が増加するに従って、いずれは介護保険制度が維持できなくなると予想されると思う。限られた予算を有効活用し、行政の仕組みで高齢社会に対処していく必要があると思う。介護予算の漫然とした増加に歯どめをかける対応が必要になると思う。	77歳・男性
介護保険制度の財政が厳しいと思われます。介護度により使用出来る金額はありますが、それ以内であれば利用する方向に進められているように感じます。本当に本人が必要と思っているサービス、自分で出来る事にはサービスを使わない方向に、ケアマネジャーが持っていくべきと思います。	67歳・女性
介護保険で充実した介護サービスが受けられるようにして下さい。孤独死のないよう見守り活動連絡網の充実、お願いします。	71歳・女性
予算のからみなどがあるとは思いますが、要介護認定が厳しいのでは。	70歳・男性
介護職等の報酬が低すぎる。そのため、なり手が無い。人手不足により入所人員の低下となっている。	70歳・男性

④社会参加・交流（22件）

回答の概要	年齢・性別 回答者
週2回～3回、日に2時間位なら、何か仕事をしたいと思っていますが、その方法が分かりません。	66歳・女性
100歳の時代となり、体が健康であれば、仕事をしたいと思っている。高齢者が働ける場所が多くあればよいと思う。	67歳・女性
高齢者の持っている能力を生かせる場がより多くあるとよいと思う。	66歳・女性
高齢者でも元気な方は多数います。老人施設でボランティアをしてみたい気持ちがありますが、なかなか踏み込めません。募集をしているのか、未経験でも参加出来るのかなどの情報があればと思います。	69歳・女性
高齢者が気軽に通うことができる交流の場を増やしてもらいたい。近くにない。どこにあるか分からない。	82歳・女性
講座やサークル活動などが充実している。活動拠点も多くあるが、駐車スペースが少ないと感じる。	67歳・女性
元気な高齢者が同世代の高齢者を支えたり、若い子育て世代をサポートできる場を公民館でつくっていいと思います。小平は市民まつりでもわかるように老若男女、世代を越えて一体感のある地域です。元気な高齢者を活用していただけるよう願って止みません。	66歳・男性
高齢者が多くなっています。知り合いが多くなれば、話し相手や買い物も頼めます。多目的ホール付きサロン等を希望します。	

⑤施設サービス（17件）

回答の概要	年齢・性別 回答者
老人ホームなどの入所施設がたくさん増えることを希望します。	74歳・女性
国、自治体・ボランティア等々に支えられ、希望する高齢者が死するまで豊かに暮らせる入所施設の増設をしてほしい。	68歳・男性
ほどほどのサービスでよいので、安い施設があれば良いと思う。最近新しく出来ている有料老人ホームの施設などは、入所料金が高くて入れない。	73歳・女性
介護施設でのサービスが向上するように、市からも改善のための努力、指導をしてもらいたい。	68歳・女性
特別養護老人ホームを増やして、待機者の解消に努めてほしいと思います。	66歳・女性

⑥生活や将来のこと（14件）

回答の概要	年齢・性別 回答者
私はひとり暮らしです。介護が必要になった場合、一時在宅介護で様子を見るのか、すぐに特別養護老人ホームなどに入った方が良いのか迷います。	84歳・男性
家族といつも一緒にすごしたい、すごしていきたいと思っても、一緒にすんでいる夫と子に障がいがあるので、私がいつも元気でいたいと思っていますが、毎年1つは年をとってゆくのでその事が気がかりです。	70歳・女性
私自身健康で不自由さを感じていないので深く考えた事がないのですが、近い将来必ず私自身にかかわって来る事なので、アンケートを通して今から良く考え家族とも良く話し合いたいと思いました。	73歳・女性
若い人より高齢者が多くなってきている私共の町内です。生きる希望がない高齢者の方もおられます。まだまだ大丈夫ですと答えてはいますが、難しい問題です。	73歳・女性
高福祉なら高負担は、やむを得ませんが、高負担になりすぎると気持ちのうえでも元気がなくなってくると思います。今65才で、介護されるにはまだ無縁で正直イメージがわかりません。しかし想像すると、年金のみの暮らしでは、先細る金額的支援など心配することはよくあります。	65歳・男性
同居の息子が30代後半、パート仕事を週4、数年前体調をくずしてから、やや引きこもりがち、家族とは会話かなり少ない。コミュニケーションをとりにくいので、老後、家計の相談なども出来ず心配。自分がまだ体力あるうちは良いが、親二人が亡くなったら、どう生きて行くのか。同じような状態の人達との交流。本人が少しでも外向きになる方法ありましたら、この問題も対応してほしい。いわゆる「80・50問題」です。	67歳・女性

その他（４３件）

回答の概要	年齢・性別 回答者
<p>65才以上の人に出すアンケートとしては、内容が多すぎて負担がかかると思いました。</p>	<p>66歳・女性</p>
<p>未だ、対象範囲にないと思うが、不安はある。自分でできる予防措置はなるべくとっていきたいが、市や住民の情報が、簡単に得られれば、有難いと思う。</p>	<p>73歳・男性</p>
<p>現在の施策についてはあまり詳しくはないのですが超高齢化社会に向かつての整備は早急に必要だと思います。今は都市部のベッドタウン化が進んでいますので、若い方達の人口が増える事により、街が活性化する事を望みます。</p>	<p>66歳・女性</p>
<p>自分も含め、身近かに高齢者施策を必要としている人がいないため、現在はよくわかりませんが、情報は色々な所から得ることができる状況と思います。高齢化に伴い、子供達の世代の負担が大きくなる事に不安を感じます。若い世代の負担にならないよう、自分のできる事をできるうちに増やしたいと思います。</p>	<p>65歳・女性</p>
<p>これから日本は、高齢化社会になっていくので、高齢者が安心して生活できる社会になって欲しいです。オレオレ詐欺、振り込め詐欺などの犯罪のない世の中になって欲しいです。高齢化社会になると病気や怪我や認知症といった問題が起こります。高齢者が幸せに、できるだけ健康な生活が送れるような事を考えて欲しいです。生きていて良かったな、長生きして良かったなと思えるような小平市にして欲しいです。</p>	<p>65歳・男性</p>